

木曽山崎団地地区まちづくりアンケート結果報告

1 まちづくりアンケート実施概要

(1) アンケートの目的

木曽山崎団地地区の居住者、事業者、および周辺地区の関係者等に対してアンケートを行い、当地区のまちづくり課題の把握や、将来へのご意見等、まちづくりに係るアイデアを広く収集することを目的として、アンケートを実施しました。

(2) アンケートの対象者

アンケートの対象者は以下の通りです。

- 当地区の居住者、事業者
- その他、当地区のまちづくりに興味のある方

(3) アンケートの実施期間

アンケートの配布日、回収期間は以下の通りです。

- アンケート配布日：8/29（木）～30（金）
- アンケート回収期間：8/29（木）～9/16（月）（19日間）

(4) アンケートの配布方法及び周知方法について

アンケート資料は印刷物（A3 用紙・両面 1 枚）で、当地区内の居住者の方へ全戸配布を行いました。また、以下の方法で周知を行いました。

- 全戸配布 7,536 戸
- 地区内の幼稚園、保育園、桜美林大学、山崎高校等での周知（図 1）
- 広報まちだへの記載（図 2）
- 町田市ホームページへの記載（図 3）

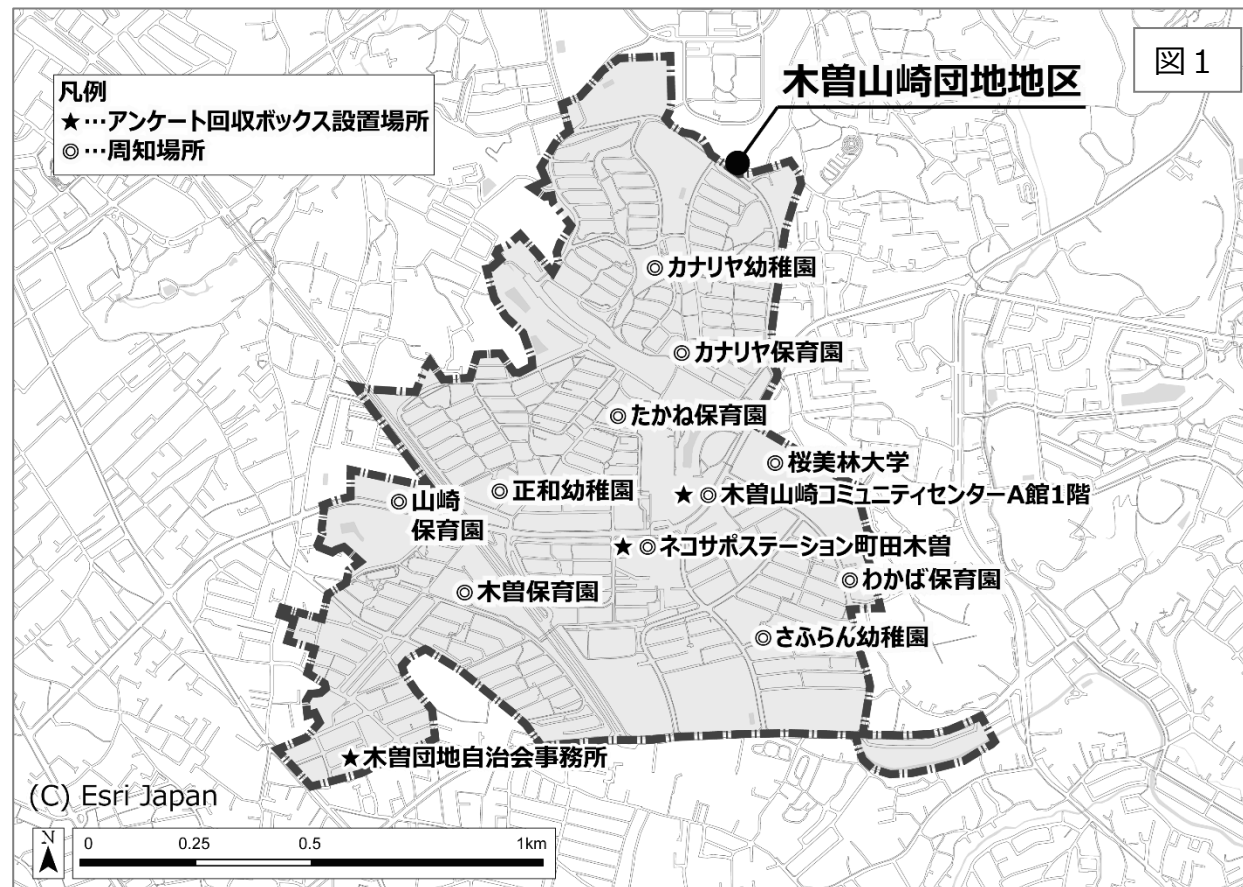


図 1

木曽山崎団地地区のまちづくりに関するアンケートを実施します

市では、モノレールの延伸を見据えて、木曽山崎団地地区をヒト・モノ・コトが集まるまちにしてい くため、まちの施設や機能のアイデアなどについ て、市民の皆さんから幅広いご意見をいただくた め、アンケートを実施します。

回答期限9月16日(月)まで **回答方法**市HP (右記二次元コード)で回答。

問都市政策課 ☎724-4077



図 2

木曽山崎団地地区のまちづくりに関するアンケートを実施します

市では、木曽山崎団地地区を、モノレールの延伸を見据えてヒト・モノ・コトが集まるまちにしてい くために、まちの施設や機能のアイデアなどについ て、市民の皆様から幅広いご意見をいただくため、アンケートを実施します。

回答期限

2024年9月16日（月曜日）まで

回答方法

以下のQRコードがリンクから、アンケートページに移動します。



<https://forms.gle/Q52YRZdTh3sva7Jq8> (外部サイト)

図 3

(5) アンケートの回答方法

以下の 2 通りの方法で回答いただきました。

- アンケート紙面に記載した QR コードを読み取り、WEB アンケートにて回答していただいた。
- 紙アンケートに手書きで回答を記入し、回収ボックスへ投函していただいた。（回収ボックスは左の図中 に記載の通り。）

(6) アンケートの回答数

アンケートの回収数は以下の通りとなりました。

- 紙回収…224 件
- WEB …358 件
- 総数 …582 件

そのうち、

- 地区内の方からの回答…469 件(80.6%)
- 地区外の方からの回答…113 件(19.4%)

アンケートの配布数 7,536 戸に対する地区内回答数は 469 件で、地区内回答率は 6.2%となりました。

(7) アンケート用紙（配布用）

木曽山崎団地地区（UR町田山崎団地、J K K町田木曽住宅、J K K木曽住宅） まちづくりアンケート 2024年8月発行

日頃より町田市のまちづくり事業にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

木曽山崎団地地区は、「町田市都市づくりのマスタープラン」に基づき、モノレール延伸を契機として、新たなにぎわいの創出を目指した団地再生を推進します。

UR 町田山崎団地では、住民の皆さまと UR 都市機構が約 2 年間にわたって団地の将来像を検討し、その結果、次の 3 つの将来エリアイメージをまとめました。

①モノレール延伸計画を契機とした「にぎわい」のエリア、②多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のエリア、そして③多世代にとって「暮らしやすい」エリアです。

これからは、検討範囲を、木曽山崎団地地区全体に広げ、2040年に向けて目指す将来のまちづくりについて検討します。

今回、その一環として、「まちづくりアンケート」を実施させていただきます。お忙しい中恐れ入りますが、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

皆さまの声をまちづくりに反映し、木曽山崎団地地区の更なる発展につなげてまいります。

【対象者】

- ・木曽山崎団地地区の住民、事業者の皆さま
- ・まちづくりに興味がある皆さま

【アンケートのご回答にあたって】

1. オンラインでの回答は、お一人あたり一回になります。（ご家族各々が回答することは可能です。）
2. このアンケートは無記名方式ですので、個人が特定されることは一切ありません。
いただいた回答は、まちづくりの検討を行うために活用させていただきます。

【回答の方法】

次の 2 つの方法からいずれか 1 つを選び、回答してください。

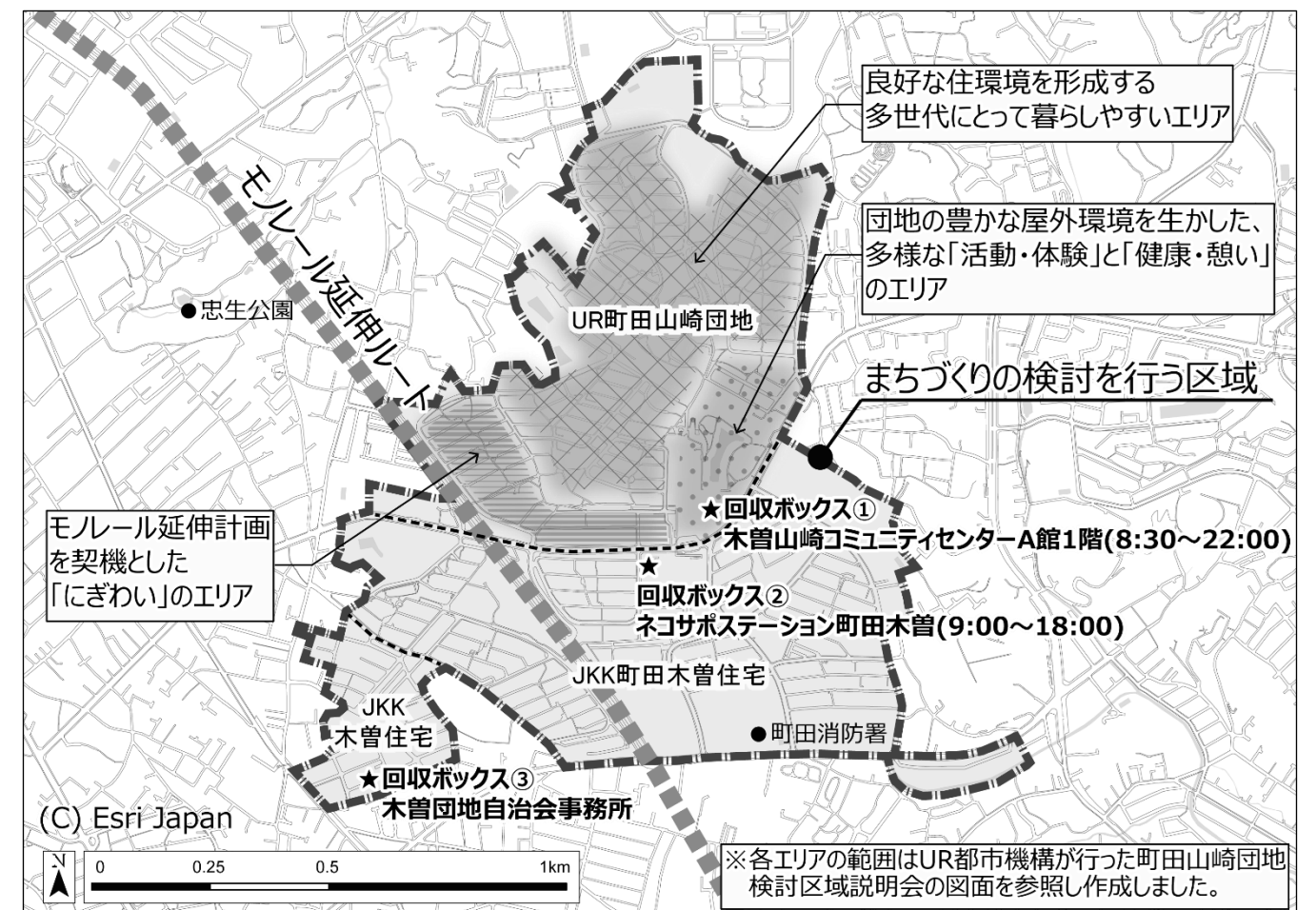
1. パソコン・スマートフォン・タブレットで、オンライン回答
2. アンケート用紙（この紙）に直接記入し、回収ボックスへ投函

※回収ボックス設置場所…

- ・木曽山崎コミュニティセンターA館1階（8：30～22：00）
- ・ネコサポステーション町田木曽（9：00～18：00）
- ・木曽団地自治会事務所

※オンラインで回答いただいた方は、回収ボックスへの投函は不要です。

■木曽山崎団地地区エリア



【オンライン回答について】

オンライン回答用 URL：https://forms.gle/Q52YRZdTh3sva7Jq8

※スマートフォン、タブレット等からは、右の二次元コードを読み取ってアクセスできます。



アンケートの
↑回答はこちらから↑

【アンケートの回答期限】

2024年9月16日（月）

【アンケートに関するお問い合わせ先】

町田市 都市づくり部 都市政策課 モノレールまちづくり推進室

担当者：穴水、^{あなみず}今野、^{こんの}小泉、^{こいずみ}

連絡先：042-724-4077

アンケート

問1 お住まいをお答えください。(1つに○印)

1. UR 町田山崎団地 2. JKK 町田木曽住宅 3. JKK 町田木曽住宅ト号棟
4. JKK 木曽住宅 5. 上記以外の町田市内 6. 町田市外

問2 問1で「1.」～「4.」を回答した方は、居住年数をお答えください。(1つに○印)

1. 0～5年 2. 6～10年 3. 11～20年 4. 21～30年
5. 31～40年 6. 41～49年 7. 50年以上

問3 年齢をお答えください。(1つに○印)

1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代
5. 40歳代 6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

問4 食料品・生活雑貨等の日用品の買い物をどこですることが多いかをお答えください。(1つに○印)

1. 団地内のスーパーやお店 2. 近隣のスーパーやお店 3. 町田駅周辺のお店
4. 町田駅周辺以外のお店 5. 大型店や安売り店 6. 通販・宅配
7. その他

()

問5 問4で「1.」～「5.」を回答した方は買い物の移動手段をお答えください。(1つに○印)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バス 4. タクシー 5. 自家用車
6. その他

()

問6 木曽山崎団地地区の団地再生に向けては、次のどの取組みを優先すべきだと考えますか。(1つに○印)

1. 将来を見据えて都市再開発を行い、新たな商業施設や集客施設を誘致し、「にぎわい」のあるまちへと発展させる。
2. 団地内の豊かな自然環境の保全・活用、運動やアート、音楽などの文化活動のスペースの整備を行い、「健康・憩い」と「活動・体験」を提供するまちにする。
3. 空き部屋や空きスペースの有効活用や、住宅改修やリノベーションなどの住環境の改善、テレワークスペースや地域活動・交流スペースの整備等による、多世代のニーズに応える住み心地の良い「暮らしやすい」まちにする。

4. その他

()

問7 モノレール延伸を契機とした「にぎわい」のあるまちにするためには、どのような施設が必要だと考えますか。(最大3つまで○印)

1. 商業、娯楽、飲食等の大型複合施設 2. 子ども向けの遊び場（屋内外の遊戯施設）
3. 大型量販店（家電量販店、総合スーパーなど） 4. 商業施設に併設した公園
5. 音楽やアート等の文化活動や生涯学習のスペース
6. 映画館やミニシアター 7. レストランやカフェ
8. モノレール駅周辺のランドマーク施設 9. 地元のイベントやフェスティバルの会場

10. その他

()

問8 多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のあるまちにするには、どのような施設が必要だと考えますか。(最大3つまで○印)

1. 自然に触れる緑地や自然公園 2. アートや音楽などの文化活動施設
3. ピクニックやバーベキュー等のアウトドアが体験できるエリア
4. アスレチックや健康遊具、大型複合遊具のある公園 5. スポーツができる広場
6. 地域の活動や交流を行うスペース 7. ランニングやウォーキングコース
8. スーパー銭湯やサウナなどの温浴施設 9. フィットネスクラブやスポーツ施設

10. その他

()

問9 多世代にとって「暮らしやすい」まちにするためには、どのような取組みが必要だと考えますか。(最大3つまで○印)

1. 商業施設の充実 2. 公共交通の充実 3. 新しい働き方の環境整備
4. 子育て支援の充実 5. 多世代のライフスタイルに対応した住宅の充実
6. 防災体制の整備 7. 防犯活動の強化 8. 自然環境の保全
9. 医療・健康施設の充実（病院、診療所、薬局など）

10. その他

()

問10 これからの木曽山崎団地地区のまちづくりについて、ご意見やアイデア等があれば教えてください。(ご自由にご記入ください)

(8) アンケート用紙（掲示用）

**木曽山崎団地地区（UR町田山崎団地、J K K町田木曽住宅、J K K木曽住宅）
まちづくりアンケート**
2024年8月発行

日頃より町田市のまちづくり事業にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

木曽山崎団地地区は、「町田市都市づくりのマスタープラン」に基づき、モノレール延伸を契機として、新たなにぎわいの創出を目指した団地再生を推進します。

UR 町田山崎団地では、住民の皆さまと UR 都市機構が約2年間にわたって団地の将来像を検討し、その結果、次の3つの将来エリアイメージをまとめました。

①モノレール延伸計画を契機とした「にぎわい」のエリア、②多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のエリア、そして③多世代にとって「暮らしやすい」エリアです。

これからは、検討範囲を、木曽山崎団地地区全体に広げ、2040年に向けて目指す将来のまちづくりについて検討します。

今回、その一環として、「まちづくりアンケート」を実施させていただきます。お忙しい中恐れ入りますが、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

皆さまの声をまちづくりに反映し、木曽山崎団地地区の更なる発展につなげてまいります。

【対象者】

- ・木曽山崎団地地区の住民、事業者の皆さま
- ・まちづくりに興味がある皆さま

【アンケートのご回答にあたって】

1. オンラインでの回答は、お一人あたり一回になります。（ご家族各々が回答することは可能です。）
2. このアンケートは無記名方式ですので、個人が特定されることは一切ありません。
いただいた回答は、まちづくりの検討を行うために活用させていただきます。

【回答の方法】

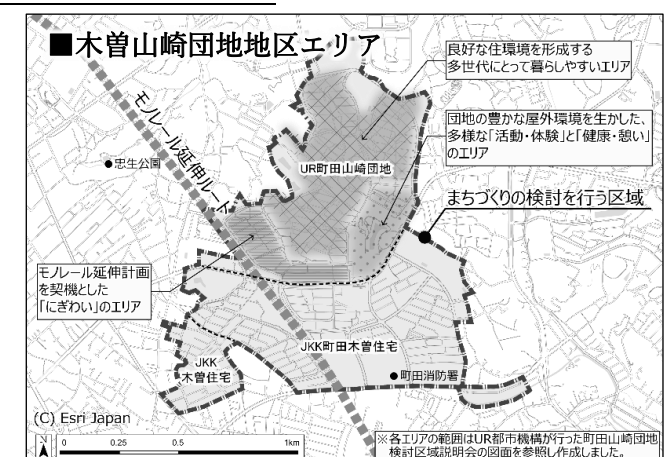
パソコン・スマートフォン・タブレットから、オンラインで回答ください。

【オンライン回答について】

オンライン回答用 URL：<https://forms.gle/Q52YRZdTh3sva7Jq8>

※スマートフォン、タブレット等から下の二次元コードを読み取ってアクセスできます。

【アンケートの回答期限】 2024年9月16日（月）



【アンケートに関するお問合わせ先】

町田市 都市づくり部 都市政策課 モノレールまちづくり推進室

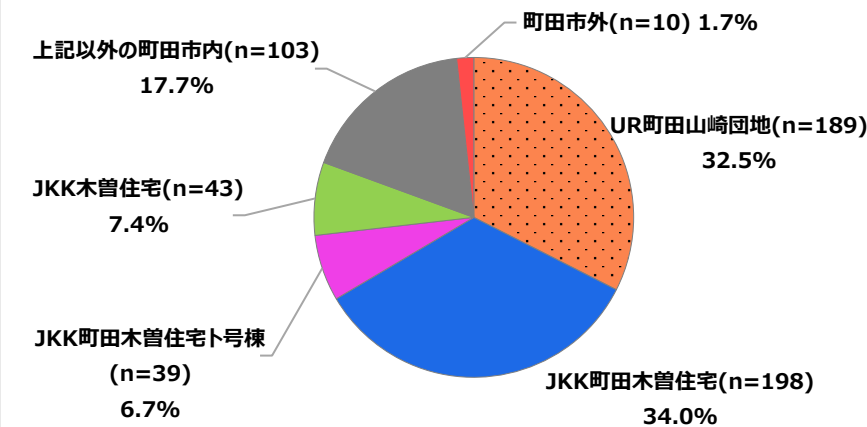
担当者：あなみず こんの こいずみ
穴 水、今 野、小 泉

連絡先：042-724-4077

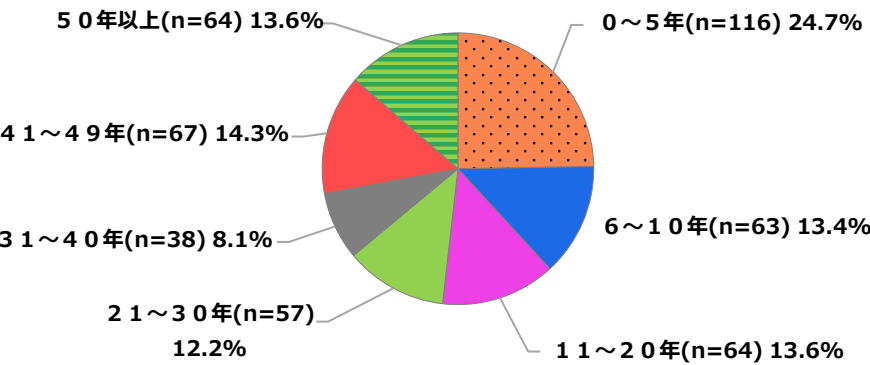
2 アンケート集計結果

(1) アンケート集計結果のまとめ（N は設問毎の回答数）

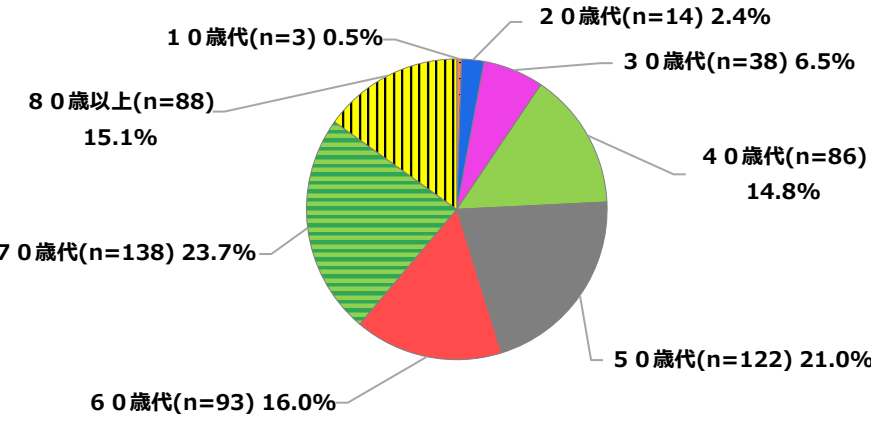
問 1. お住まいをお答えください。（1 つに○印）（N=582）



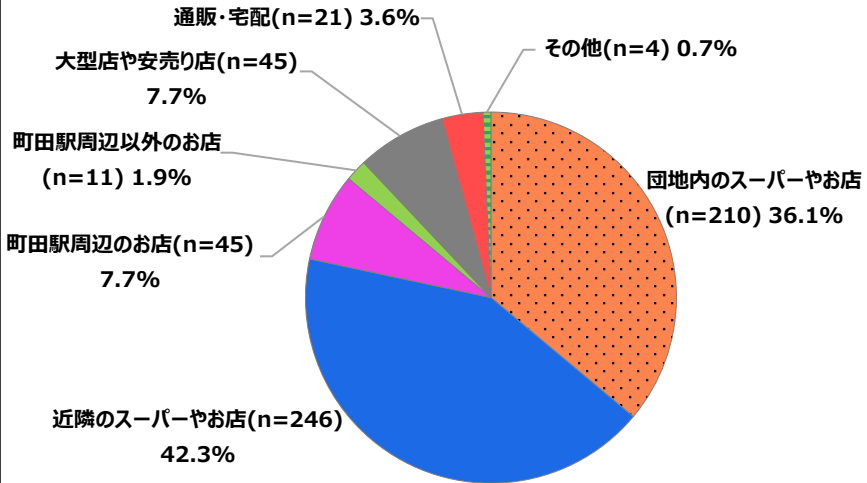
問 2. 問 1 で「1.」～「4.」を回答した方は、居住年数をお答えください。（1 つに○印）（N=469）



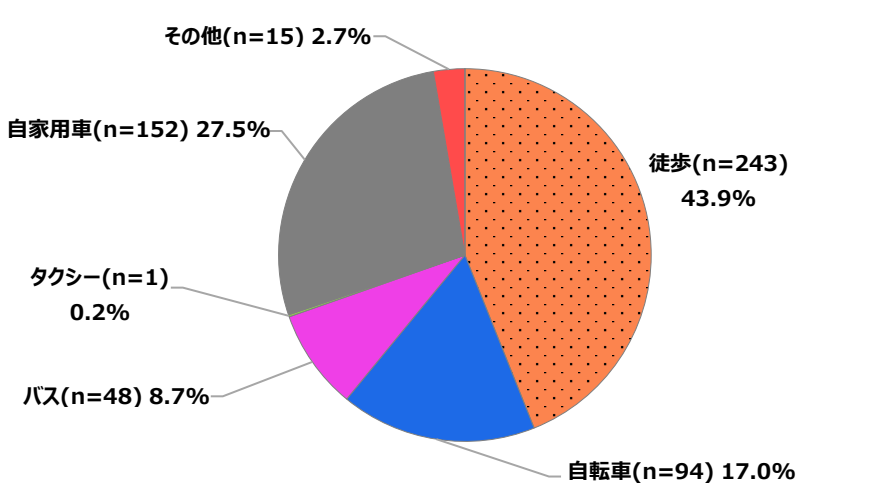
問 3. 年齢をお答えください。（1 つに○印）（N=582）



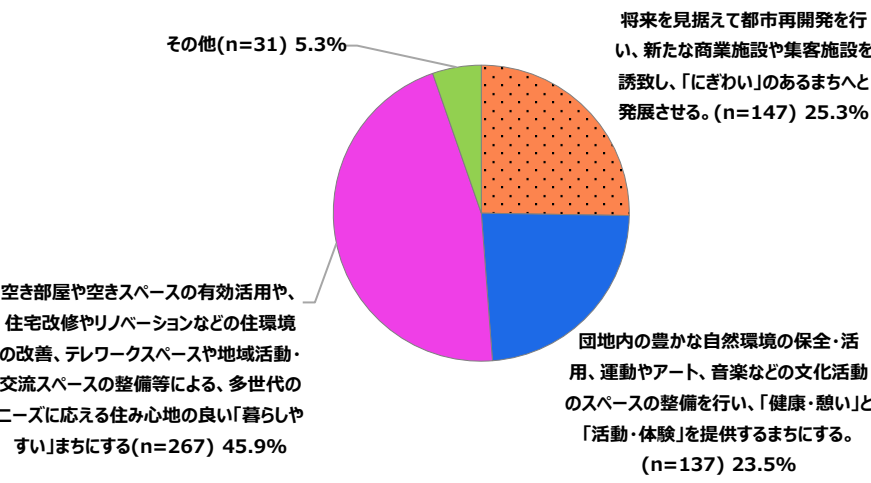
問 4. 食料品・生活雑貨等の日用品の買い物をどこですることが多いかをお答えください。（1 つに○印）（N=582）



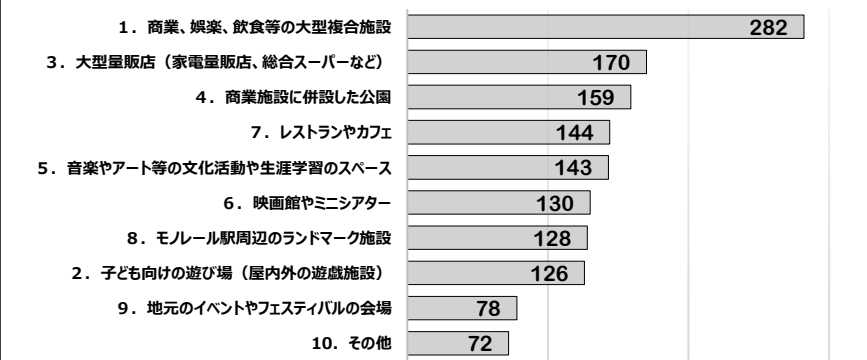
問 5. 問 4 で「1.」～「5.」を回答した方は買い物の移動手段をお答えください。（1 つに○印）（N=553）



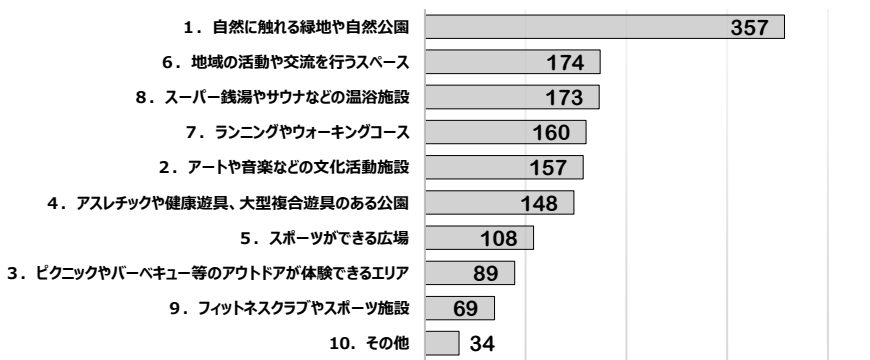
問 6. 木曽山崎団地地区の団地再生に向けては、次のどの取組みを優先すべきだと思いますか。（1 つに○印）（N=582）



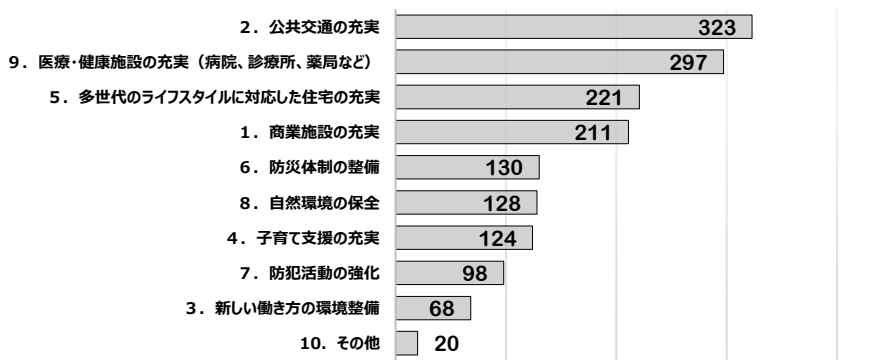
問 7. モノレール延伸を契機とした「にぎわい」のあるまちにするためには、どのような施設が必要だと思いますか。（最大 3 つまで○印）（N=1432）



問 8. 多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のあるまちにするには、どのような施設が必要だと思いますか。（最大 3 つまで○印）（N=1469）



問 9. 多世代にとって「暮らしやすい」まちにするためには、どのような取組みが必要だと思いますか。（最大 3 つまで○印）（N=1620）



問 10. これからの木曽山崎団地地区のまちづくりについて、ご意見やアイデア等があれば教えてください。（自由記述）（187 名の方から 204 件のご意見をいただきました。）

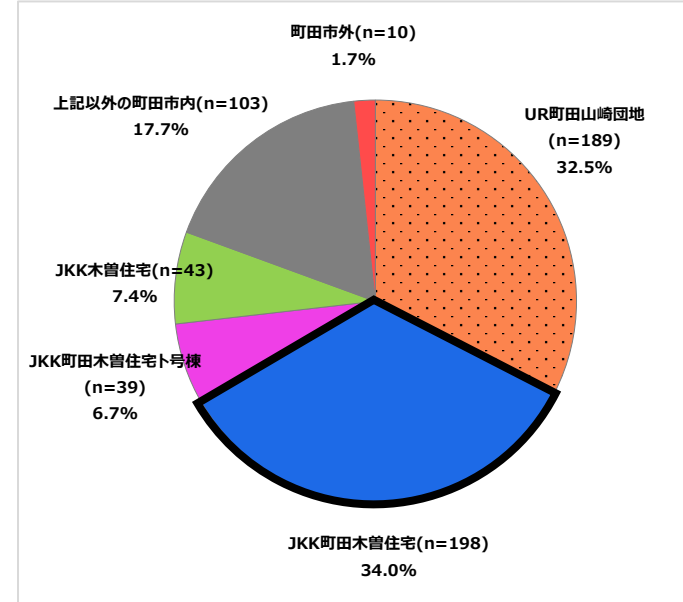
- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 安心・安全面の充実に関する意見 …15 件 | 5 環境への配慮に関する意見 …8 件 |
| 2 多世代交流の充実に関する意見 …37 件 | 6 その他の意見 …46 件 |
| 3 利便性の向上に関する意見 …34 件 | |
| 4 まちの魅力の向上に関する意見 …64 件 | |

(2) アンケート集計結果の詳細 (N は設問毎の回答数)

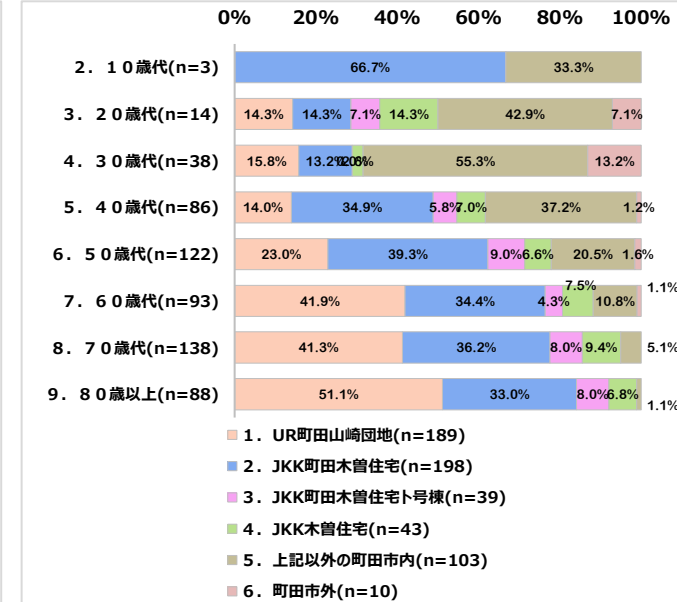
問 1. お住まいをお答えください。(1つに○印) (N=582)

回答 1. UR 町田山崎団地(N=189) 2. JKK 町田木曽住宅(N=198)
3. JKK 町田木曽住宅ト号棟 (N=39) 4. JKK 木曽住宅(N=43)
5. 上記以外の町田市内(N=103) 6. 町田市外(N=10)

【全体の集計結果】

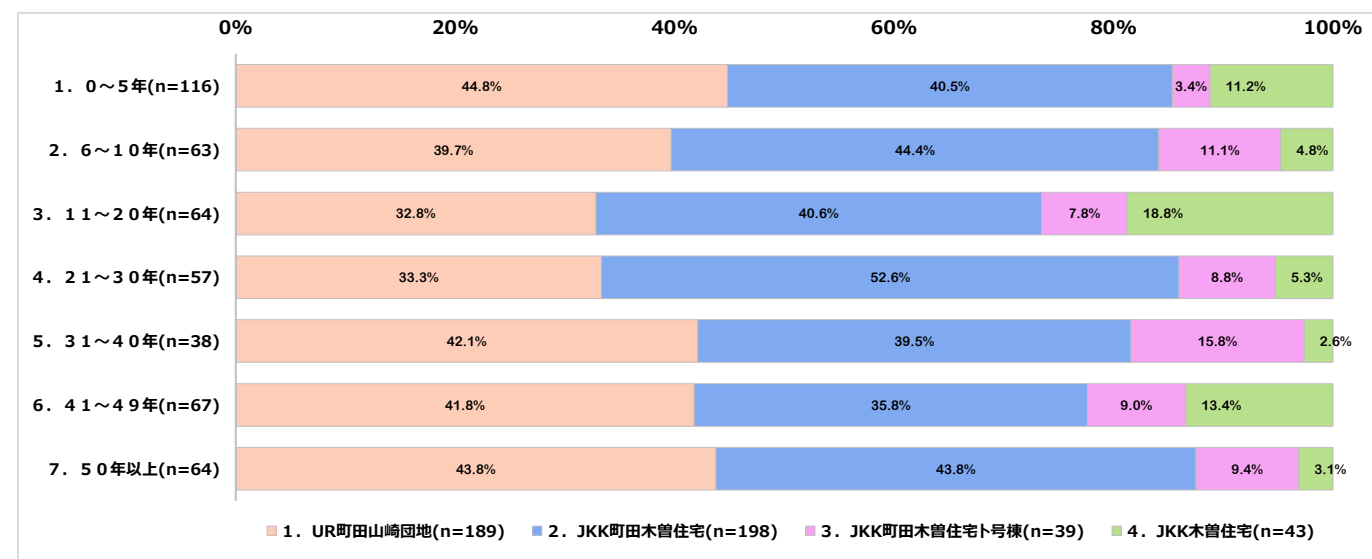


【年齢毎の集計結果】



【居住年数毎の集計結果】

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く



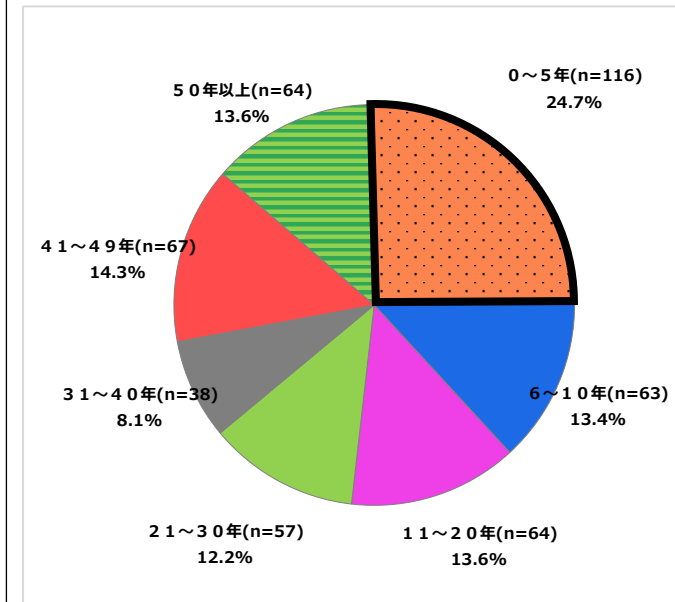
評価

- JKK 町田木曽住宅居住者の回答が最も多く、34.0%であり、ト号棟も合わせると40.7%となる。
- 次いで UR 町田山崎団地の居住者の回答が32.5%であった。
- 団地地区以外の方である「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」の方の回答数は19.4%あった。

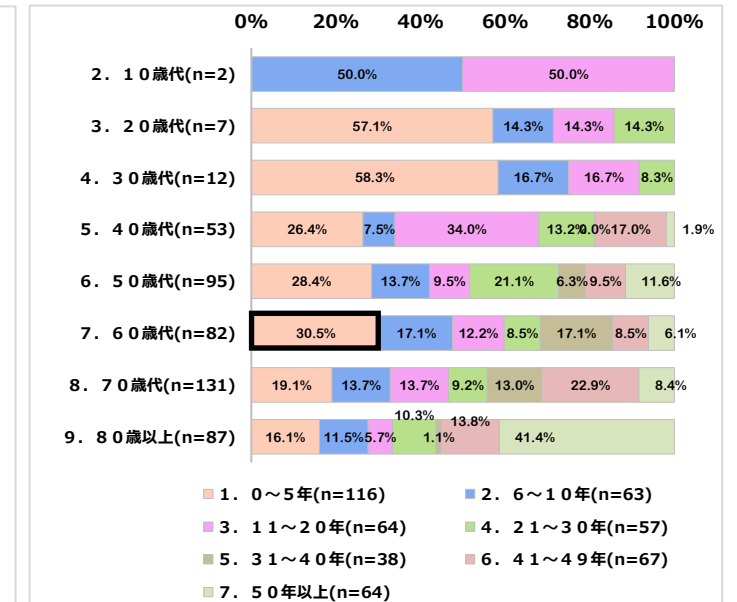
問 2. 問 1 で「1.」~「4.」を回答した方は、居住年数をお答えください。(1つに○印) (N=469)

回答 1. 0~5年(N=116) 2. 6~10年(N=63) 3. 11~20年(N=64)
4. 21~30年(N=57) 5. 31~40年(N=38) 6. 41~49年(N=67)
7. 50年以上(N=64)

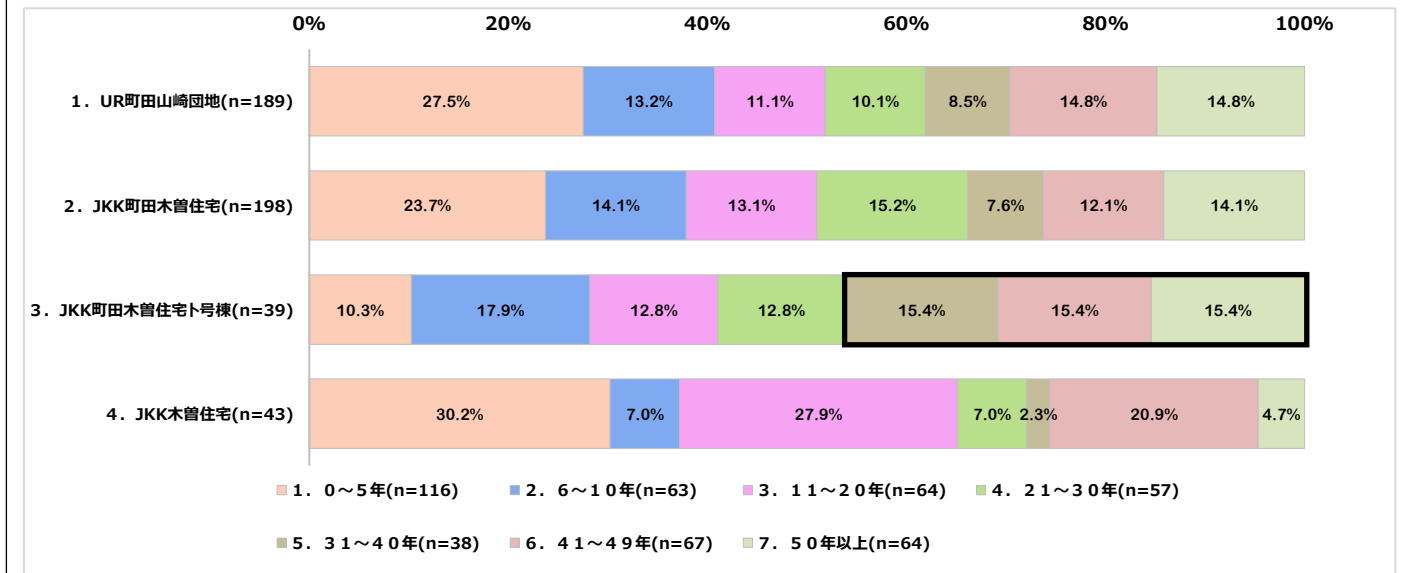
【全体の集計結果】



【年齢毎の集計結果】



【居住地毎の集計結果】



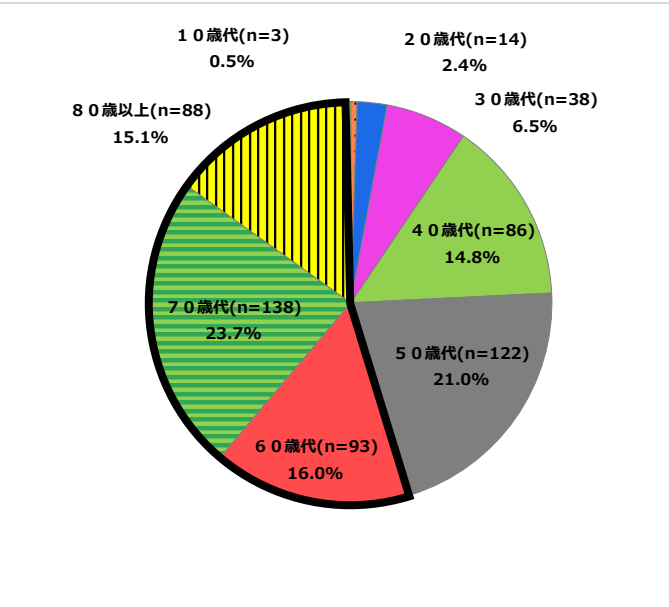
評価

- 回答数全体でみると、居住年数「0~5年」が24.7%と最も多かった。一方、20年以上の長期に亘り居住している方は半数の48.2%であった。
- 年齢毎をみると、60歳代の居住年数「0~5年」が30.5%であった。
- 居住地別にみると、JKK 町田木曽ト号棟は、分譲のため、30年以上居住している方の割合が46.2%が高かった。

問3. 年齢をお答えください。(1つに○印) (N=582)

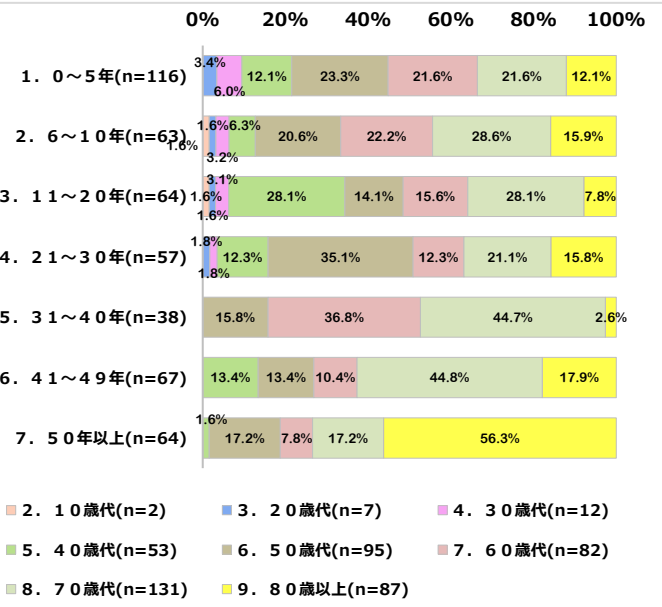
- 回答 1. 10歳未満(N=0) 2. 10歳代(N=3) 3. 20歳代(N=14)
4. 30歳代(N=38) 5. 40歳代(N=86) 6. 50歳代(N=122)
7. 60歳代(N=93) 8. 70歳代(N=138) 9. 80歳代(N=88)

【全体の集計結果】

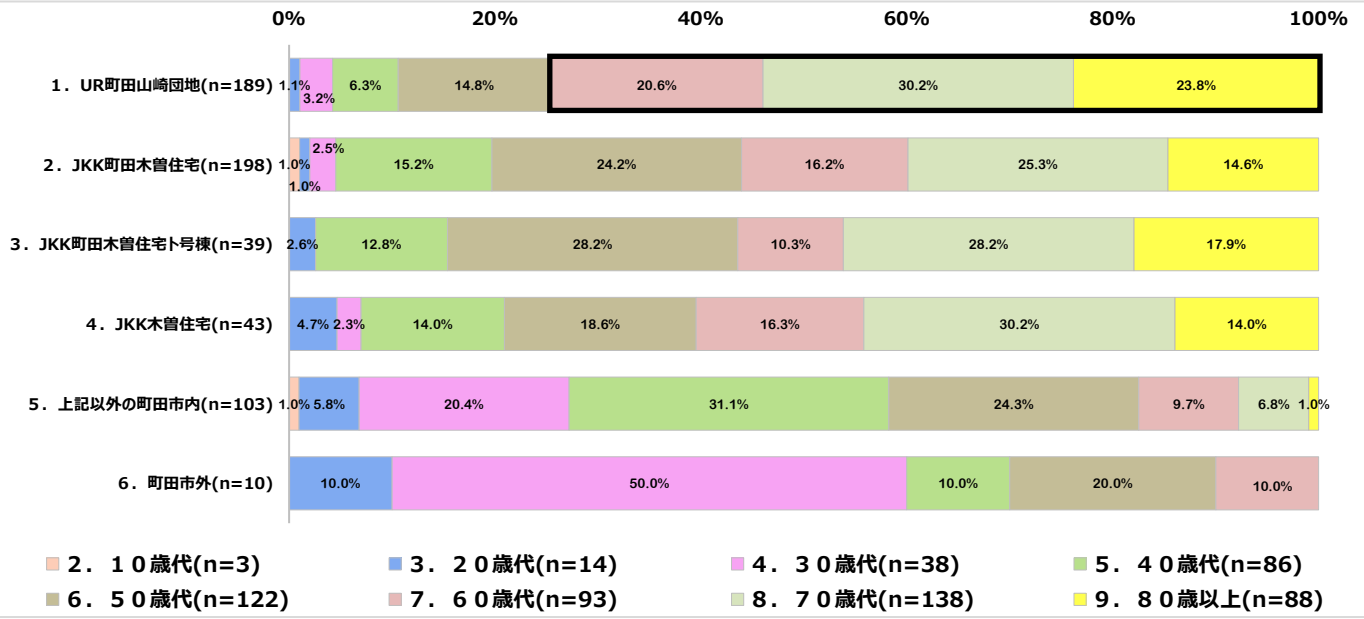


【居住年数毎の集計結果】

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く



【居住地毎の集計結果】



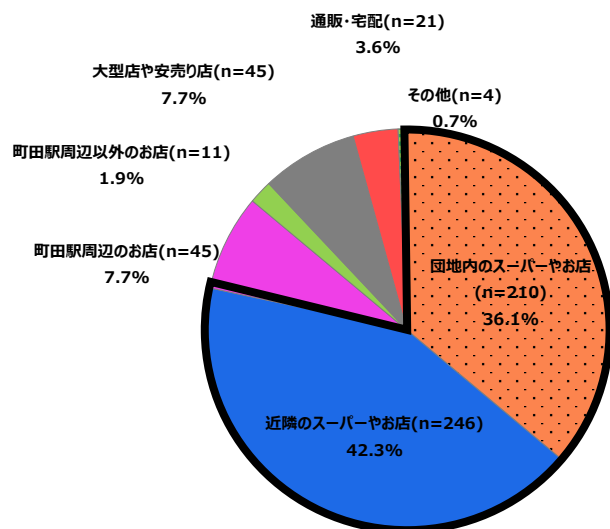
評価

- 60歳以上の回答が54.8%で半数を超える結果となった。
- 居住地毎をみると、60歳以上の割合は、U R 町田山崎団地で最も多く、74.6%であった。

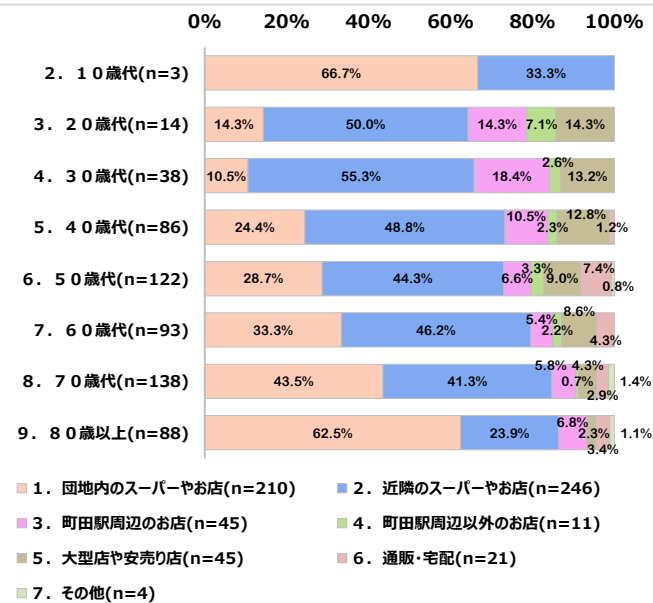
問 4. 食料品・生活雑貨等の日用品の買い物をどこですることが多いかをお答えください。
（1つに○印）（N=582）

回答 1. 団地内のスーパーやお店(N=210) 2. 近隣のスーパーやお店(N=246)
3. 町田駅周辺のお店(N=45) 4. 町田駅周辺以外のお店(N=11)
5. 大型店や安売り店(N=45) 6. 通販・宅配(N=21) 7. その他(N=4)

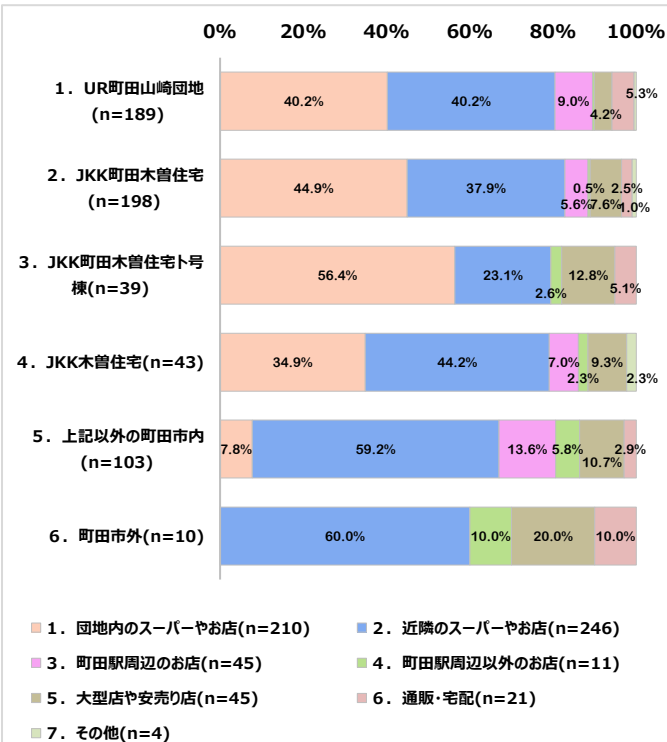
【全体の集計結果】



【年齢毎の集計結果】



【居住地毎の集計結果】

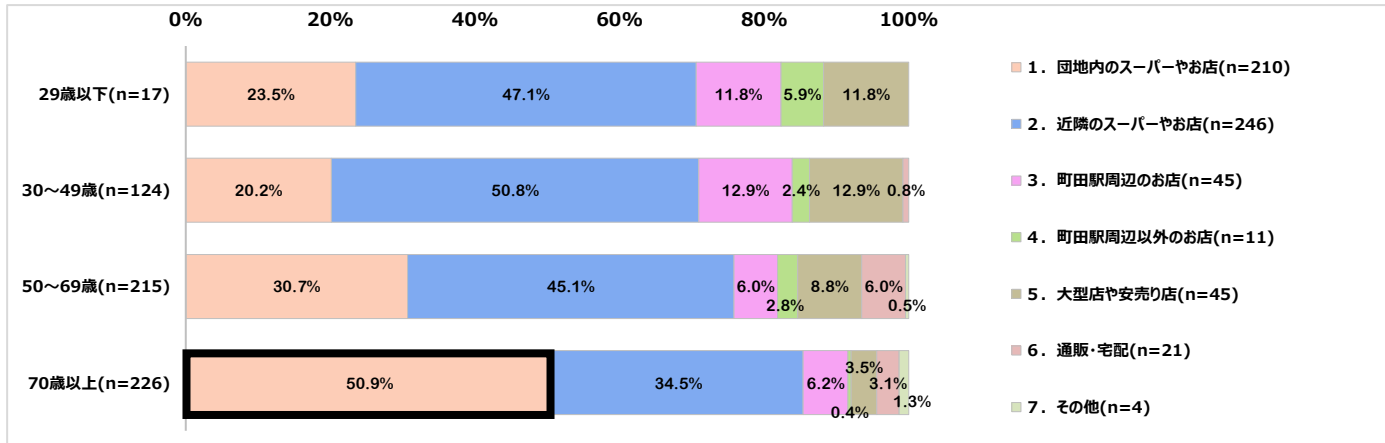


評価

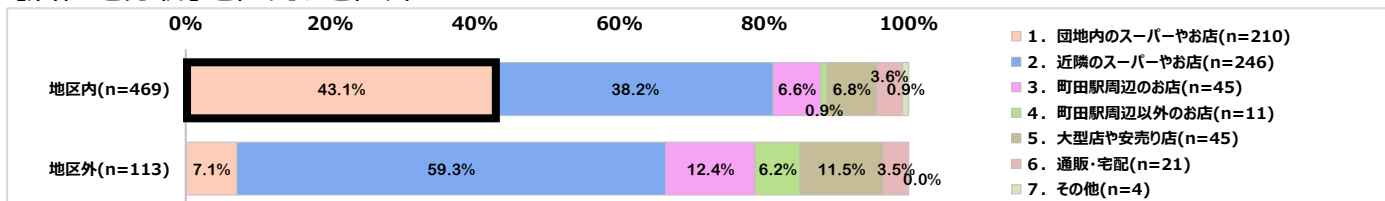
- 「近隣のスーパーやお店」を選択した人が 42.3%、「団地内のスーパーやお店」を選択した人が 36.1%で、大多数を占める結果となった。

分析

【世代分析】～29歳、30～49歳、50～69歳、70歳以上

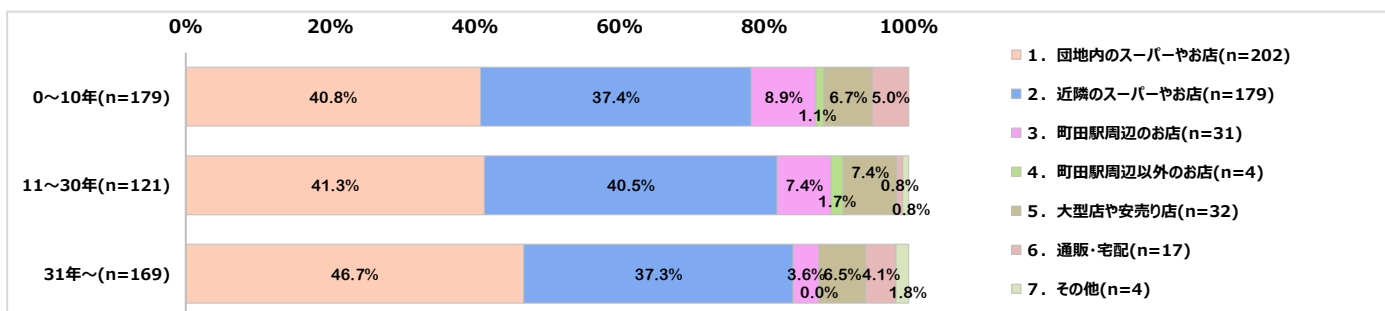


【居住地分析】地区内、地区外



【居住年数分析】0～10年、11～30年、31年以上

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く



評価

【世代分析】

- 70歳以上の50.9%は「団地内のスーパーやお店」で買い物をしている。

【居住地分析】

- 地区内の方の43.1%が、「団地内のスーパーやお店」で買い物をしている。

【居住年数分析】

- 居住年数による大きな違いはない。

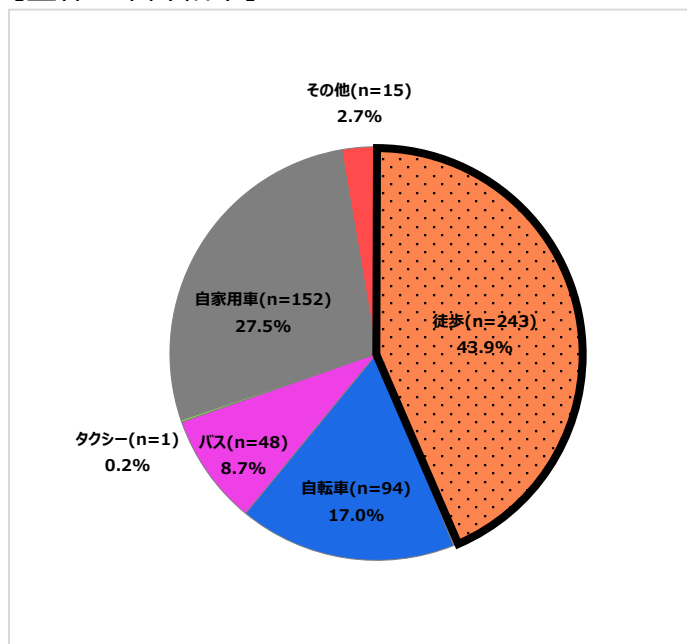
その他の回答一覧（4件）

- 選択肢の1,2,3,5,6全て利用する
- コンビニ
- 生協と、団地内のスーパーやお店
- 新しくできたクリエイト

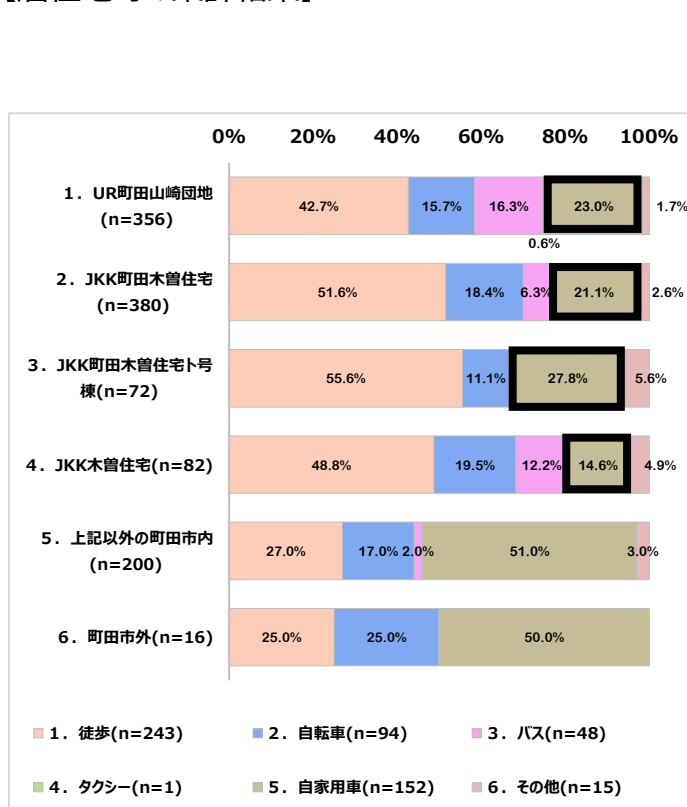
問5. 問4で「1.」～「5.」を回答した方は買い物の移動手段をお答えください。
(1つに○印) (N=553)

回答 1. 徒歩(N=243) 2. 自転車(N=94)
3. バス(N=48) 4. タクシー(N=1)
5. 自家用車(N=152) 6. その他(N=15)

【全体の集計結果】



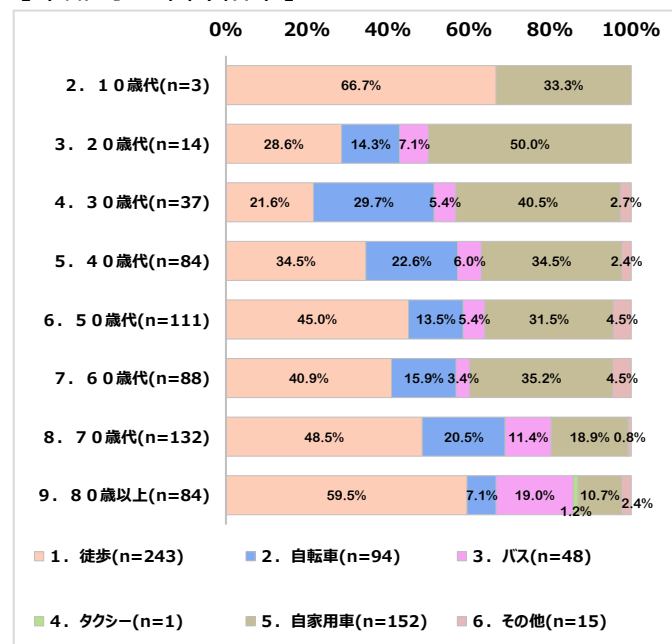
【居住地毎の集計結果】



評価

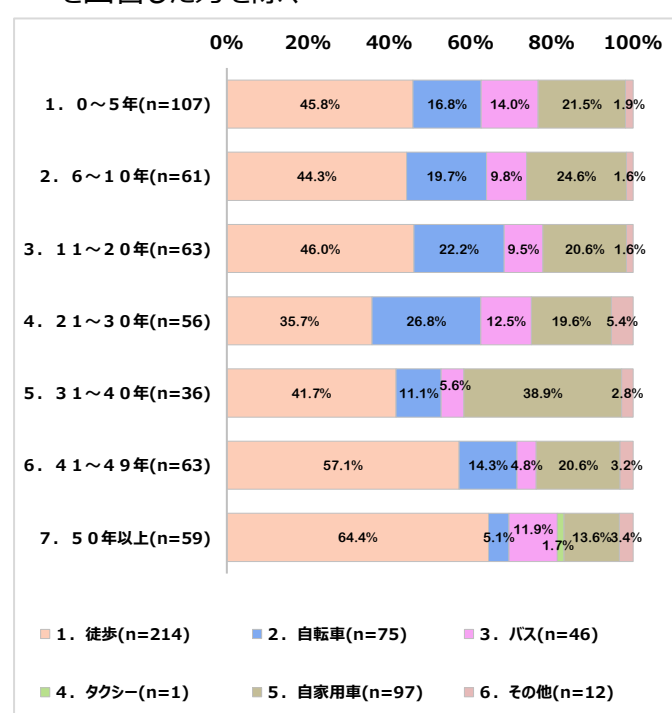
- 買い物の手段として最も多かったのは「徒歩」で、43.9%の人が徒歩で買い物をしていることが分かった。
- 地区内で自家用車で買い物をしている人は少ない。

【年齢毎の集計結果】



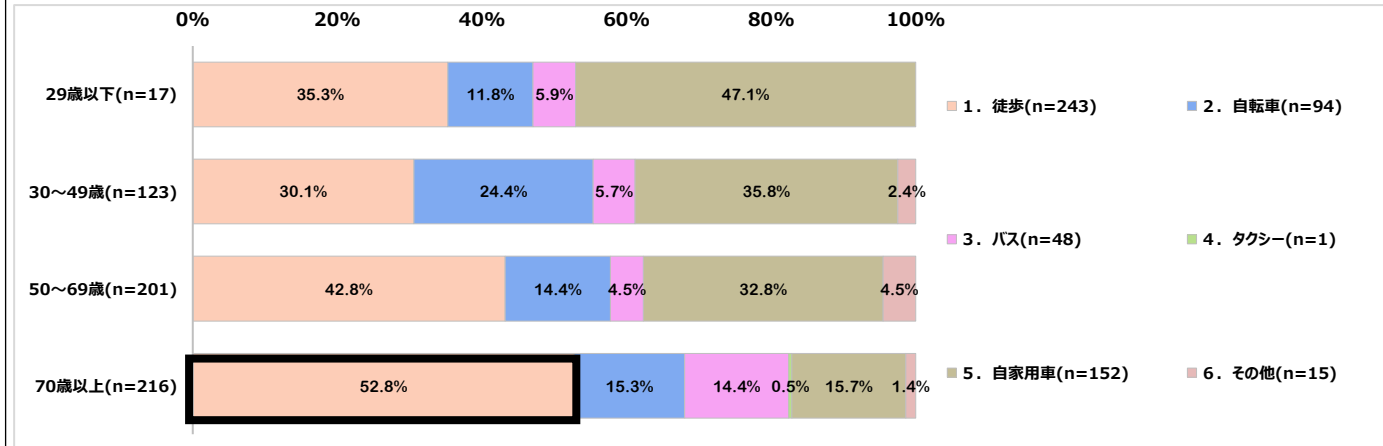
【居住年数毎の集計結果】

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く

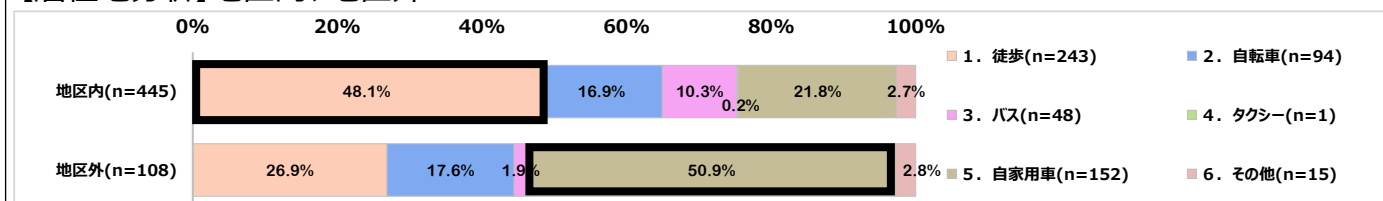


分析

【世代分析】～29歳、30～49歳、50～69歳、70歳以上

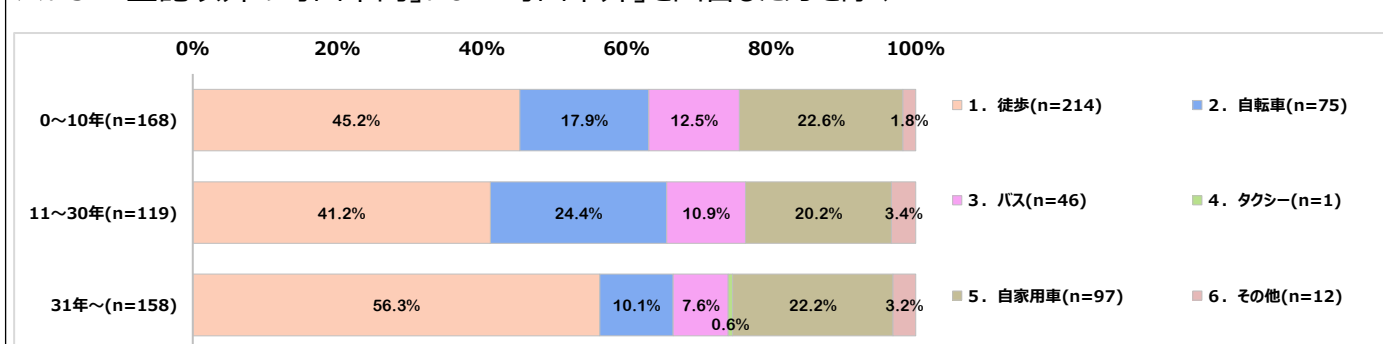


【居住地分析】地区内、地区外



【居住年数分析】0～10年、11～30年、31年以上

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く



評価

【世代分析】

- 70歳以上の方の52.8%が「徒歩」を選択している。

【居住地分析】

- 地区内の方の48.1%が「徒歩」を選択している。
- 地区外の移動手段は自動車利用率 50.9%に対して、地区内の自動車利用率は21.8%となっており、団地地区では日常生活で自家用車を必要としない生活ができる。

その他の回答一覧 (15件)

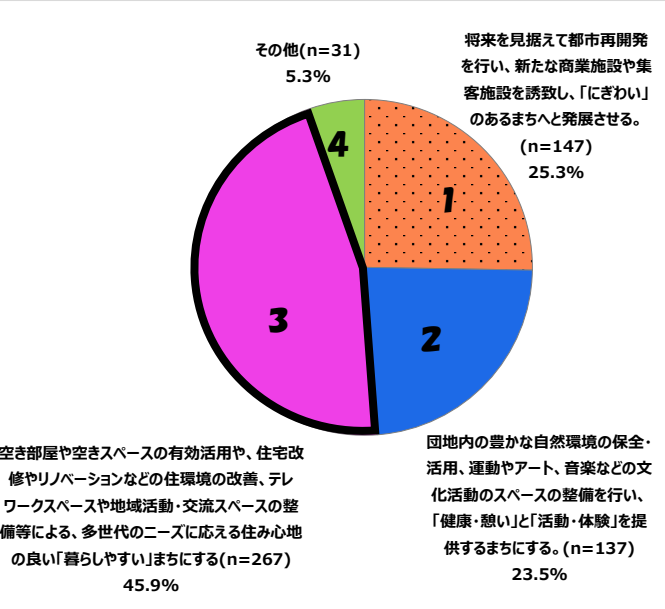
- 選択肢の1,3,5全て利用する
- バイク、原付バイク、スクーター等…11件
- ヘルパー
- 小田急線
- 駅まで出る用事があったときについて買い物をする

問 6. 木曽山崎団地地区の団地再生に向けては、次のどの取組みを優先すべきだと考えますか。

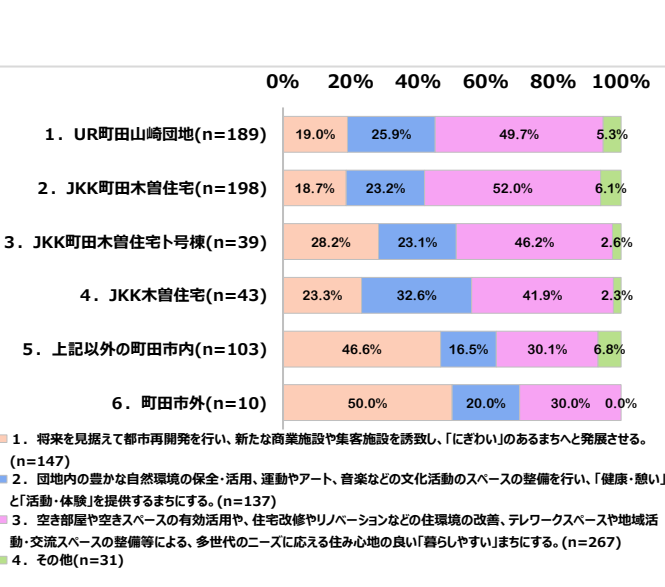
(1つに○印) (N=582)

- 回答
1. 将来を見据えて都市再開発を行い、新たな商業施設や集客施設を誘致し、「にぎわい」のあるまちへと発展させる。(N=147)
 2. 団地内の豊かな自然環境の保全・活用、運動やアート、音楽などの文化活動のスペースの整備を行い、「健康・憩い」と「活動・体験」を提供するまちにする。(N=137)
 3. 空き部屋や空きスペースの有効活用や、住宅改修やリノベーションなどの住環境の改善、テレワークスペースや地域活動・交流スペースの整備等による、多世代のニーズに応える住み心地の良い「暮らしやすい」まちにする。(N=267)
 4. その他(N=31)

【全体の集計結果】



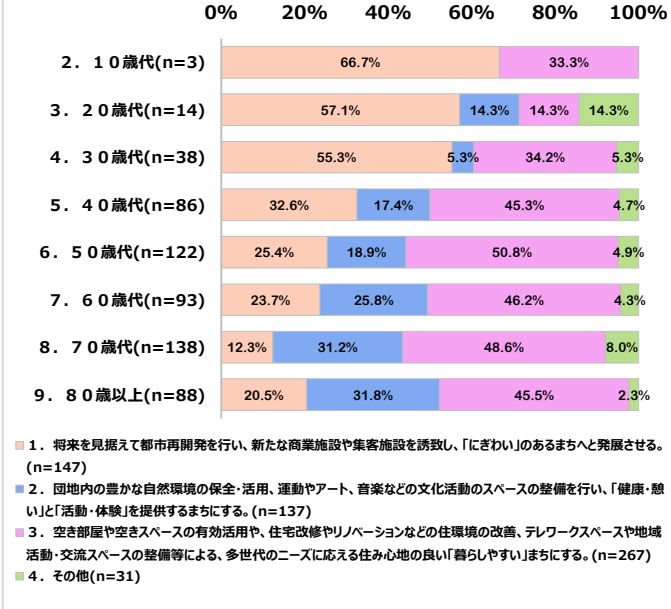
【居住地毎の集計結果】



評価

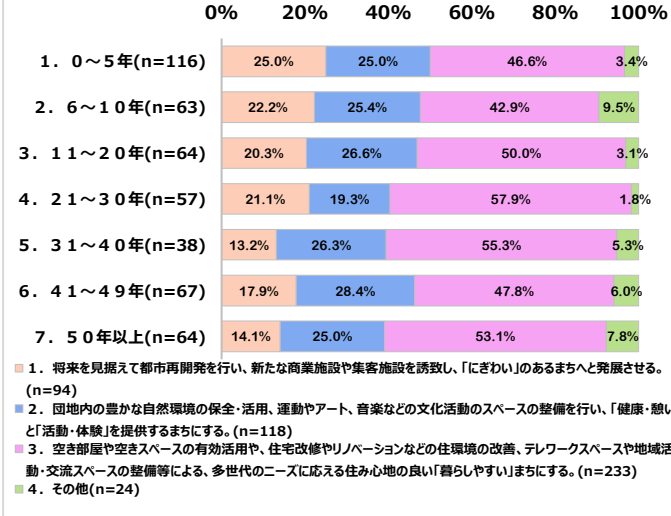
- 45.9%の人が、3「暮らしやすい」まちへの取組みを優先すべきとしている。
- 現在の団地を活かした3「暮らしやすい」まちへの取組みを 45.9%の人が選んでいるのに対し、1の「にぎわい」と2の「健康・憩い」の合計が 48.8%であり、団地の変化を求めている割合も多い。

【年齢毎の集計結果】



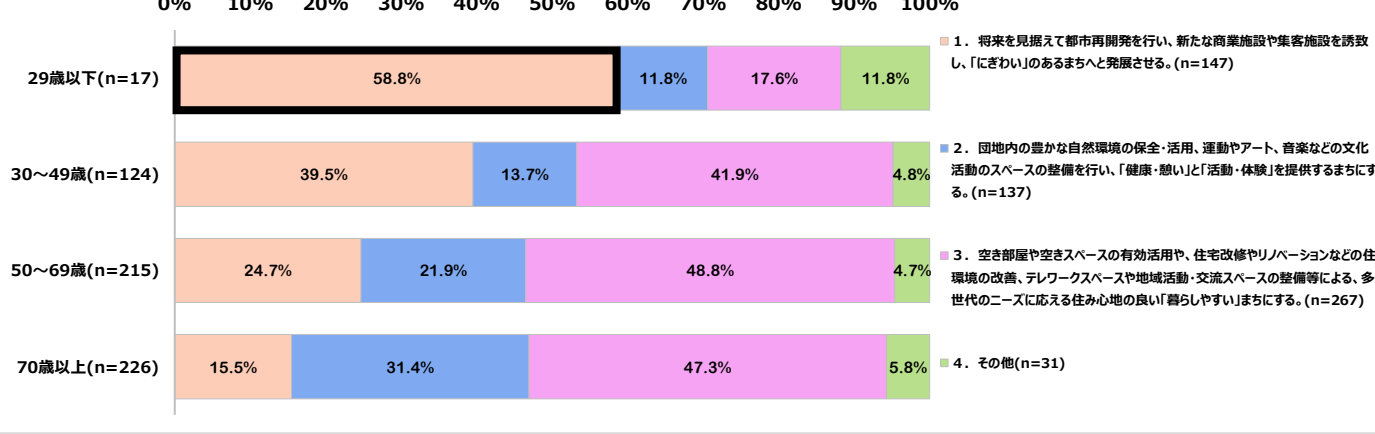
【居住年数毎の集計結果】

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く

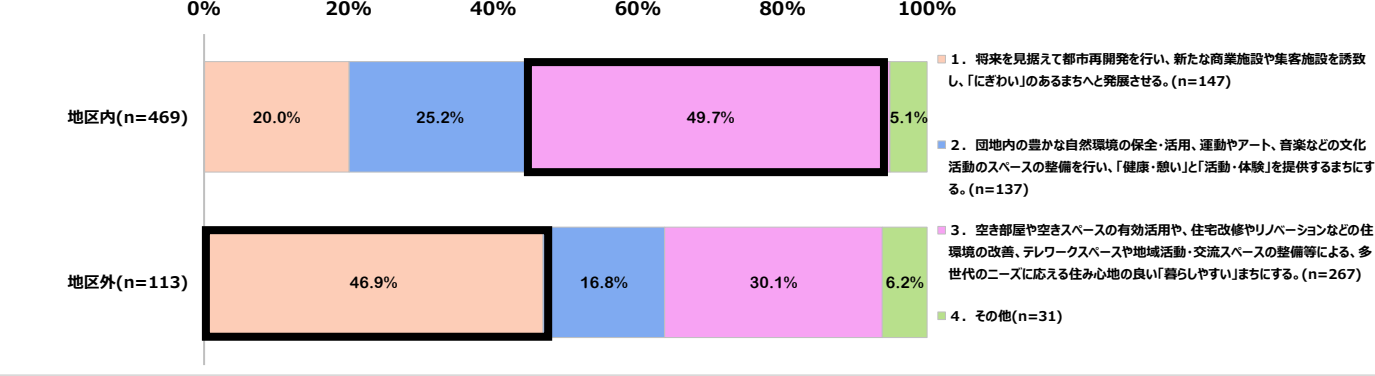


分析

【世代分析】～29歳、30～49歳、50～69歳、70歳以上

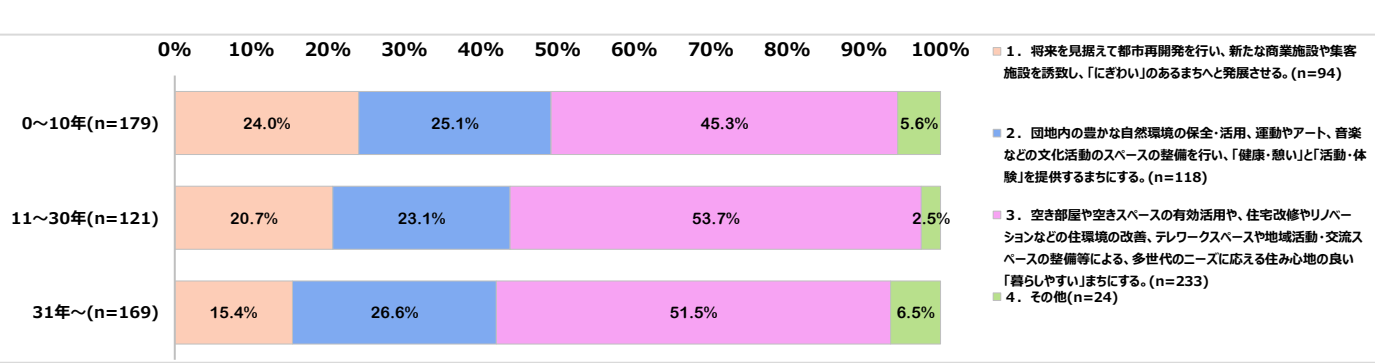


【居住地分析】地区内、地区外



【居住年数分析】0～10年、11～30年、31年以上

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く



評価

【世代分析】

- 若い世代ほど「にぎわい」のあるまちへの取組みを優先すべきと考えており、29歳以下の世代では 58.8%となっている。
- 年齢を追うごとに2の「健康・憩い」「活動・体験」を求める割合が増加している。

【居住地分析】

- 地区外の方は、「にぎわい」のあるまちへの取組みを優先すべきとしている。

問6 その他の回答（31件）

建替えや住棟改修に関する意見

1. 自然を確保しつつ、住宅の改修または住宅建物の建て替え
2. 仮称：木曽山崎駅周辺から再開発をする。駅前になるので、高家賃の払える方が住居し、中高層住居に今回の退去地区周辺も駅周辺となり、高家賃が望めるので建替えの方向で進める。具体的に分かる段階で住民に説明する。
3. 正直、建て替え以外にこの地区を活性化するのは難しいと思う。新しい団地群にモノレールで駅やショッピングゾーンまで渋滞知らずということになればちょっと裕福な新しいファミリー層が住むと思う。モノレールが町田に来ると言っても20～30年先の話なのでモノレールの開業に合わせて建て替えをすればよいと思う。新たに商業施設や文化だアートだテレワークだとか言わずにそれまでは低所得層と出稼ぎ外国人の住居という割り切ったポジションでよいのでは？モノレール開業が20年後と考えると築70年越の団地に住みたいと思う人はほぼほぼ皆無では？経済的に低所得層が仕方なしに住むしかないという現実を目を背けてはいけないと思う
4. エレベーターの設置または代案を要望
5. 高齢者が暮らしやすい間取り：例 建物の建替え（エレベーター付等）
6. エレベーター。高層階でも高齢者が住んでいて大変。

現状のままだがよいとする意見

7. 立地的に高度な再開発は不要。住みやすいので現状のままで良い。
8. 今のままでよい。人口が減ってくるのに山崎団地の住民を移動させるのは無理です。終の棲家を望んでいます。

防災、安心・安全に関する意見

9. 防災設備の充実した地域
10. 高齢者、障がい者が使用、住みやすい、バリアフリー、段差の少ない、避難所まで無理なく行けるまちにする
11. 治安の良い静かな暮らしやすい街にしてほしい

交通環境に関する意見

12. モノレールが通ると居住エリアとして検討される方が増えると思うので、結果的ににぎわうと思います。
13. モノレールが開通するまでの駅までのアクセスや周辺道路の渋滞対策
14. 団地外周のバス便を多くしてほしい。新しくできた道路はバス停を設けて。高い運賃でシルバーパスは使えないからモノレールはいらない。
15. 町田木曽住宅周辺は坂や道路が通りづらいところがあります。徒歩や自転車（電動チャリ以外）の方、ご高齢の方もバスがないと通りづらかったりします。にぎわいや、文化活動スペース、テレワークスペースとかよりも、交通状況の改善を早めた方がいいと思います。2040年も先のアンケートで自分たちの「今」の生活にすぐ対応が出来ないんだと思い、がっかりしました。

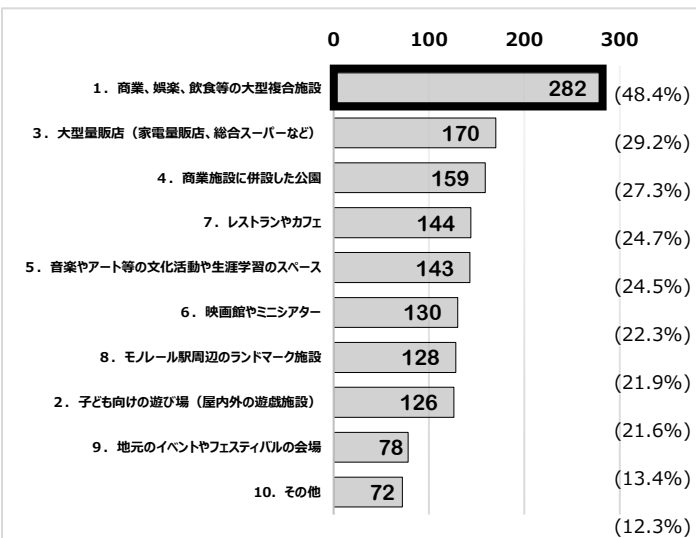
その他の意見

16. イ-11とイ-12号棟は自転車置き場が団地前ではなく横にしかない。暗くて怖くて使用できないため、他と同様に建物前に設置して欲しい。
17. 若い世代が希望するまちの形
18. 老人が多い、高齢者が買い出しに行くのに杖をつき、足を引きずってバスで荷物を2～3コ肩や腕に掛けなくてすむ施設があればどれだけ助かるか？
19. 銀行の窓口業務を作してほしい
20. 図書館(机や椅子スペースで多様な本を手に取り読める)、公園(自然環境を大切にしたい散歩やベンチでゆっくりできる環境)、
21. 住民同士のつながりの再構築
22. UR 町田山崎団地とJKK 町田木曽団地と格差が出来ない様なまちづくり事業をしてほしい。
23. 団地住民に関する需要供給を考え暮らしやすいと感じる状況にする
24. 団地の集約化を行い、空いたスペースに企業を誘致する
25. FC 町田ゼルビアのサッカー専用スタジアム
26. ゼルビアのサッカー場。新しい市民ホール
27. ②と③を平行して進めていけるとより良いと思います。近年、桜美林（芸術学部）ができていたりとても良い方向へ向かっていると思う。空家も増えていると思うので（実感しています）両方とも欲しいと思うので。
28. 「特になし」等が4件

問 7. モノレール延伸を契機とした「にぎわい」のあるまちにするためには、どのような施設が必要だと考えますか。(最大3つまで○印) (N=1432)

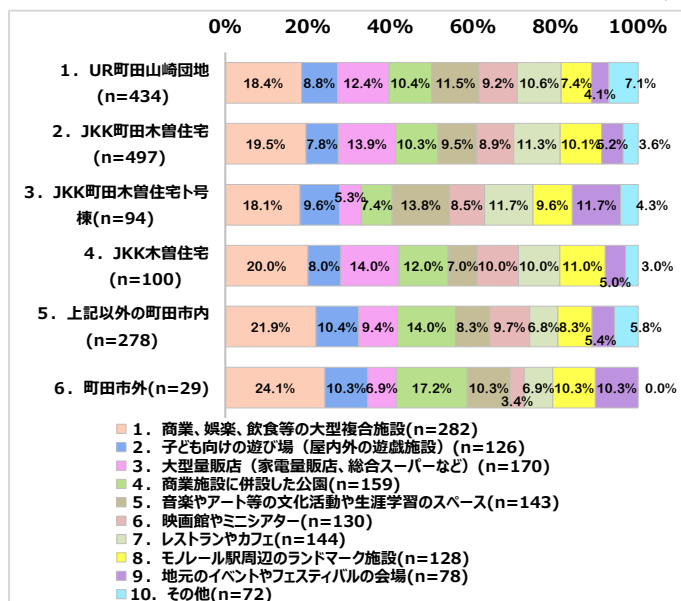
- 回答 1. 商業、娯楽、飲食等の大型複合施設(N=282)
2. 子ども向けの遊び場(屋内外の遊戯施設)(N=126)
3. 大型量販店(家電量販店、総合スーパーなど)(N=170)
4. 商業施設に面した公園(N=159)
5. 音楽やアート等の文化活動や生涯学習のスペース(N=143)
6. 映画館やミニシアター(N=130) 7. レストランやカフェ(N=144)
8. モノレール駅周辺のランドマーク施設(N=128)
9. 地元のイベントやフェスティバルの会場(N=78) 10. その他(N=72)

【全体の集計結果】



※カッコ内のパーセンテージは、アンケート総数 582 に対する割合を示す

【居住地毎の集計結果】

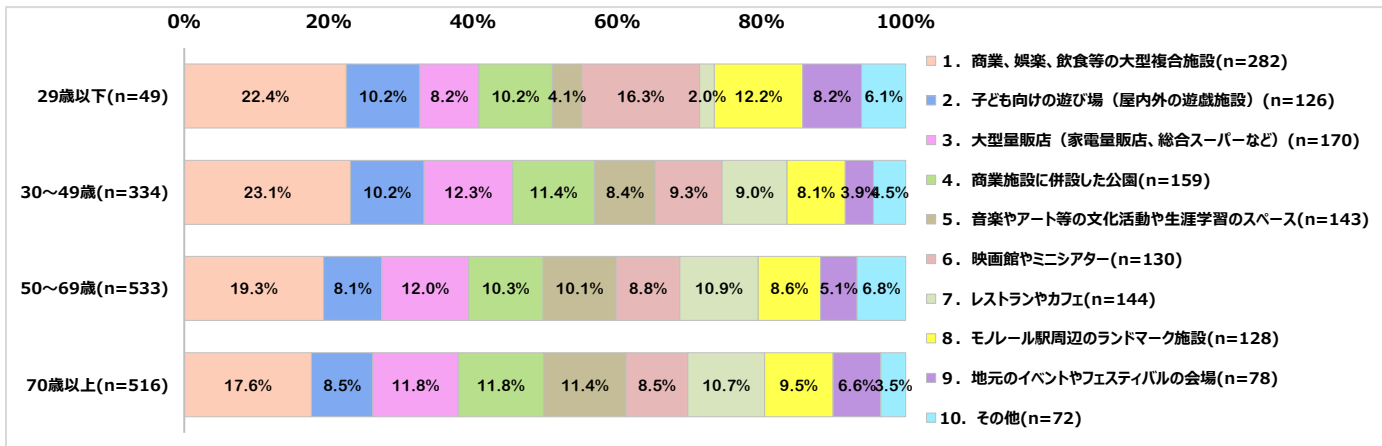


評価

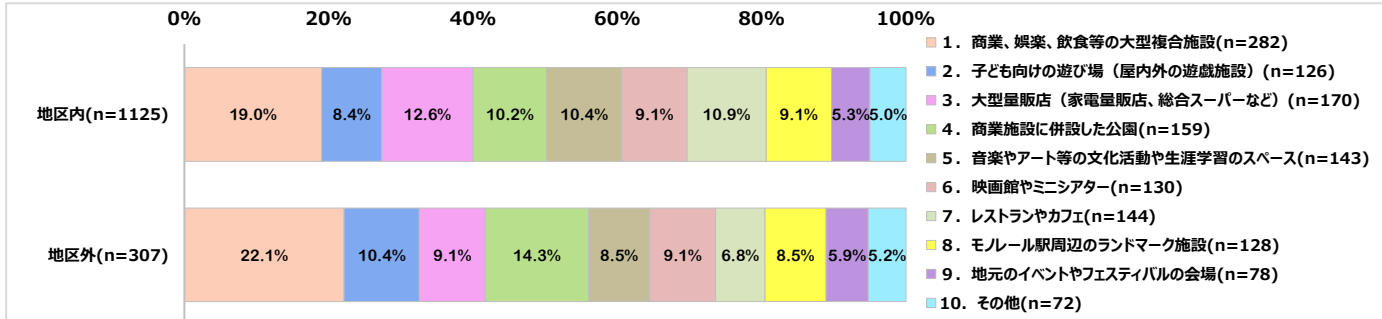
- 属性に寄らず、「にぎわい」のあるまちにするためには、「大型複合施設」が必要との声が最も多く、アンケート回答者数(582 人)のうち 48.4%が選択している。また、「商業施設に併設した公園」も上位に選ばれている。

分析

【世代分析】～29歳、30～49歳、50～69歳、70歳以上

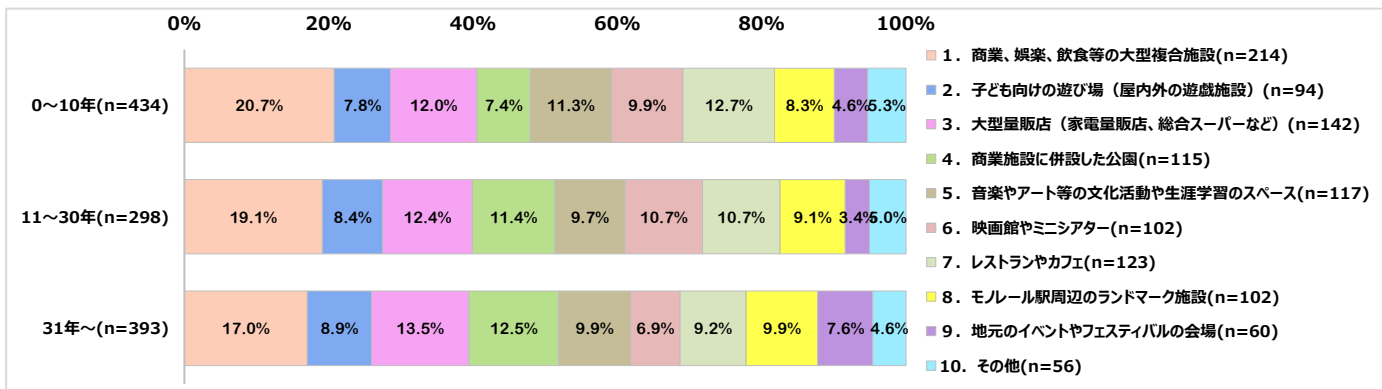


【居住地分析】地区内、地区外



【居住年数分析】0～10年、11～30年、31年以上

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く



評価

- 世代、居住地、居住年数を問わず大きな傾向の違いはない。

問7 その他の回答（72件）

既存の商店街の活性化等に関する意見

- 1.西武園ゆうえんちの様に、昭和レトロを感じさせる様な山崎、木曽の両商店街のリノベーション。
- 2.既存商店街等の活性化
- 3.木曽山崎団地の既存の特徴を活かし、商店街の再生をすること

新たな商業機能に関する意見

- 4.レストラン、カフェ、でも単なるチェーン展開の大型店ではなく、異空間を感じられるような、土地を活かした、オープンで自然と一体化したような店舗にしたら、わざわざ来ると思う。
- 5.高齢者が使いやすい買い物、公園、休憩所（無料）のある施設
- 6.モノレール駅まで繋がるバリアフリーの歩道橋や屋根付き通路、待合休憩所や売店（名産含む）、トイレ、観光（道）案内所、直売所など

スポーツができる場に関する意見

- 7.スケートボードパークを含む商業施設
- 8.スケートボード練習場
- 9.年寄りや女性の施設。スポーツ施設。
- 10.市の体育館新設、図書館、市の施設は駅近辺に移転

交通に関する意見

- 11.仮称：木曽山崎駅バスターミナルをつくる。町田駅バスセンターの混雑緩和のため。
- 12.周辺地域も巻き込んだバスターミナル
- 13.駅に隣接したスーパーや商店街、モノレールの駅に接続するバス網
- 14.バスターミナル・駅に直結した医療モール

企業の誘致や働く場に関する意見

- 15.企業誘致
- 16.会社の誘致
- 17.働くための企業誘致
- 18.延伸される地域はほかにもあるので、上記にある施設では他の地域と重なる事があるので、延伸される地域と連携してどの地域にどのような施設を造るか延伸地域全体でどのような施設を配置するか話しあえるといいと思う。2.働くための企業誘致
- 19.幅広い世代の雇用の受け入れ先があると、人も集まってくるし、年齢に合わせた働き口が団地内にあることにより、活性化されるし、受けれるサービスも増える。

その他の意見

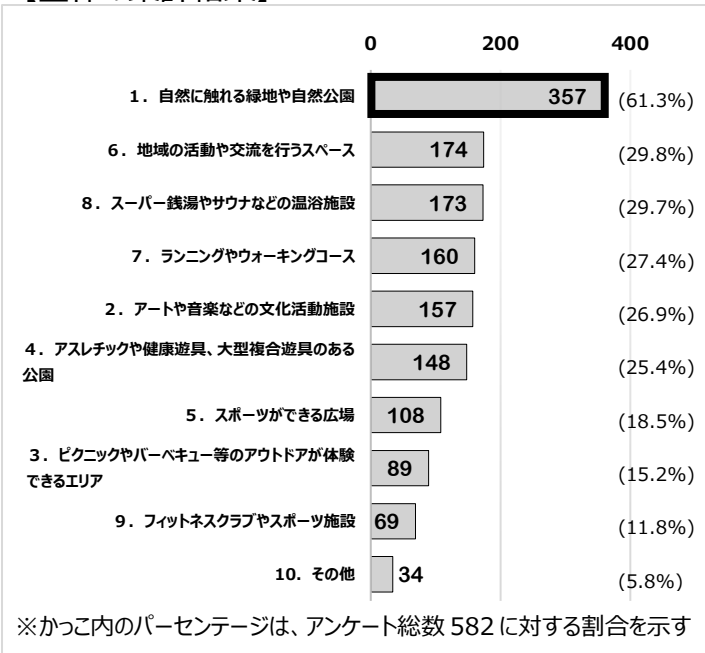
- 20.安心して住めるための、具合が悪い時に今のように長時間待たずに見てもらえる医療機関
- 21.利用しやすい医療介護生活関連施設
- 22.子供の病院、町田は老人が多いのに整形外科が少ない。
- 23.第3次救急病院、大学病院
- 24.モノレール延伸に反対します。
- 25.バスで十分、モノレールは不要です。
- 26.そもそも、少子化、人口減少の未来に、モノレールは本当に必要なのでしょうか…メンテナンス等費用も不安です…。
- 27.モノレール延伸は不要と思います。その分の税金を住民に使ってほしいです。モノレールは景観も損ないますし、震災で橋脚が倒れた場合、下の道路も通行できなくなります。阪神大震災のとき、高速道路が崩落して下の道路も通行できなくなりました。あれと同じようなことになる恐れがあります。
- 28.モノレール延伸でにぎわいという考え自体に問題があるのではないのでしょうか。そもそも多摩モノレールは他の鉄道より格段に輸送能力が低い。立川町田間を移動する人が増えるとも思えない。桁違いに高価なバスとなるだけではないのでしょうか。
- 29.年齢で、モノレールが出来るまで生きられない。
- 30.モノレールは必要ない
- 31.モノレールを理由とした開発に？
- 32.延伸される地域はほかにもあるので、上記にある施設では他の地域と重なる事があるので、延伸される地域と連携してどの地域にどのような施設を造るか延伸地域全体でどのような施設を配置するか話しあえるといいと思う。働くための企業誘致。
- 33.全ての年齢の人々が共通で利用できるスペースがあるといいと思う。
- 34.モノレールは不要。バスの本数は減ったがそれほど生活に不便ではない。モノレールが来るころはさらに高齢化で乗れる人も少ない。
- 35.モノレールは必要無いと思う。
- 36.モノレール、団地に駅、反対
- 37.FC 町田ゼルビアのサッカー専用スタジアム
- 38.サッカースタジアム
- 39.サッカースタジアム。広々とした用地（貯水池や、学校跡地）を有効活用して公園みたいな空間が良い
- 40.町田ゼルビアのホームになるスタジアムをメインとする併設した大型モールを希望します。
- 41.居住地に「賑わい」は必要が無いと考えます
- 42.竜泉寺の湯のような、巨大な温浴施設
- 43.駐車場
- 44.人工物は小さく、少なく、緑地多く、防災害に対応
- 45.新たに資金を導入する前に今あるものを効率よく活用する方が今の時代に必要とされているのではないのでしょうか？
- 46.まず、駅から遠いので、大学に人とスペースがあるのでそれらの、事をするべき。

- 47.にぎわいも大切だが、静けさを求めている人もいます
- 48.みんな2, 3年すれば飽きられて、人は来なくなる。お金をかけた分ゴーストタウンになる
- 49.住民同士が交流しやすい多世代活用可能なコミュニティ施設
- 50.治安を最優先、きれいで不良が生まれない、まじめな人が住みたくするようにする。つまり、外部から集客するような施設は無いほうが治安に良い
- 51.町田文化センターがある。
- 52.大型ディベロッパーが喜びそうな安直で拝金主義的な「にぎわい」(の創出)というキーワードをむやみに使うべきではない
- 53.桜美林大学を中心とした文化活動
- 54.公共施設
- 55.近隣で生活必需品が揃い生活していける所
- 56.団地内にコンビニ(ダウンロードしたコピー、役所の住民表ほか、QRコードでコピーできるコピー機の設置)
- 57.特別大型複合施設でなくてもいい。身近で安価な食料品店、衣服店があればいい。
- 58.賑わいは求めません。最低限のスーパー等があれば良い。
- 59.静寂カフェ
- 60.24時間営業のコンビニ
- 61.ジョギングなどを安全に行えるよう整備
- 62.自然環境を生かした安全で明るく自然と触れあえる公園。季節の花が咲いたり花見をしたり、とにかくいつでもゆっくり過ごしたい環境がある公園。
- 63.樹木の伐採が多く「ほっ」とする場所が大変少なくなっています。いろいろな施設、イベント等を実行するのにもう少し自然を残して下さい。わらびなどが採れなくなっています。
- 64.農園芸のできる場所
- 65.自然そのままを生かした緑豊かな公園
- 66.広葉樹(夏は影を作り、冬は日向を作る)に包まれた、散歩やウォーキング、憩う場所のある公園
- 67.まず、駅から遠いので、大学に人とスペースがあるのでそれらの、事をするべき。
- 68.現状維持
- 69.空き部屋をなくすようリノベーションとか
- 70.これからの世代が望む施設等
- 71.樹木の伐採が多く「ほっ」とする場所が大変少なくなっています。いろいろな施設、イベント等を実行するのにもう少し自然を残して下さい。わらびなどが採れなくなっています。
- 72.特になし

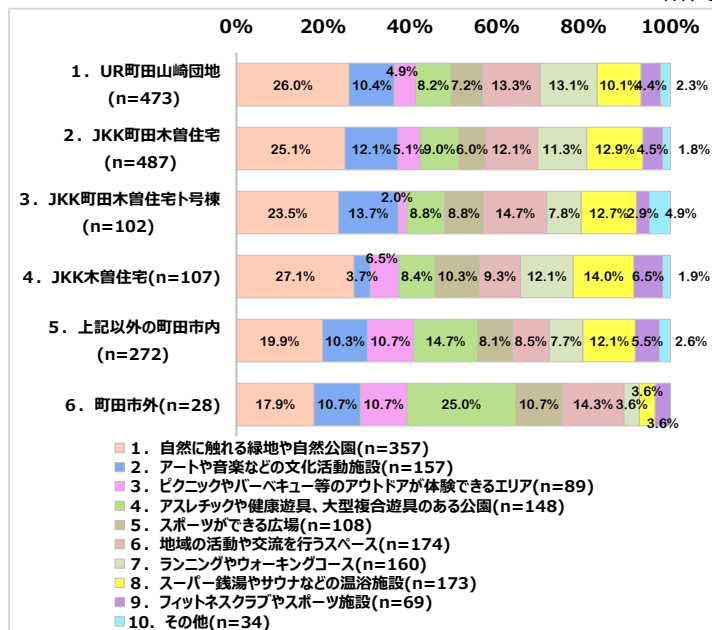
問 8. 多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のあるまちにするには、どのような施設が必要だと考えますか。
(最大3つまで○印) (N=1469)

- 回答 1. 自然に触れる緑地や自然公園(N=357) 2. アートや音楽などの文化活動施設(N=157)
3. ピクニックやバーベキュー等のアウトドアが体験できるエリア(N=89)
4. アスレチックや健康遊具、大型複合遊具のある公園(N=148)
5. スポーツができる広場(N=108) 6. 地域の活動や交流を行うスペース(N=174)
7. ランニングやウォーキングコース(N=160) 8. スーパー銭湯やサウナなどの温浴施設(N=173)
9. フィットネスクラブやスポーツ施設(N=69) 10. その他(N=34)

【全体の集計結果】



【居住地毎の集計結果】

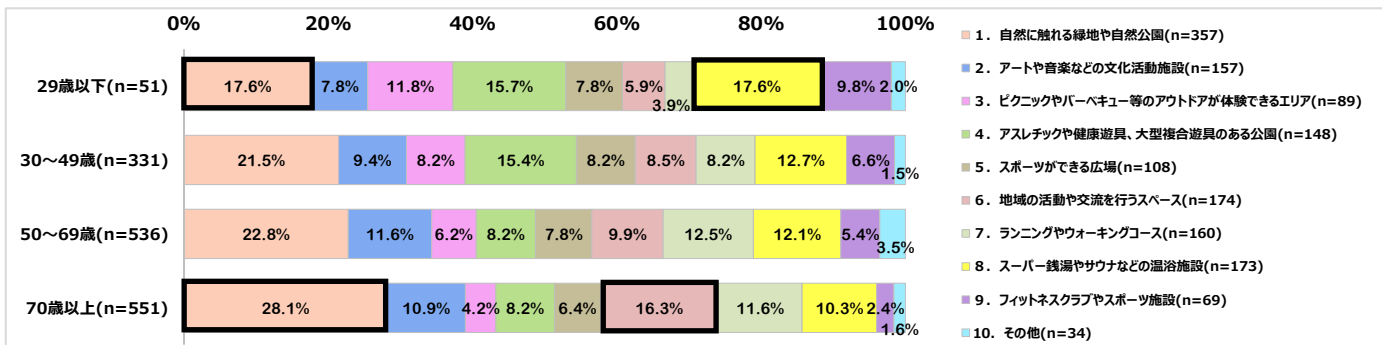


評価

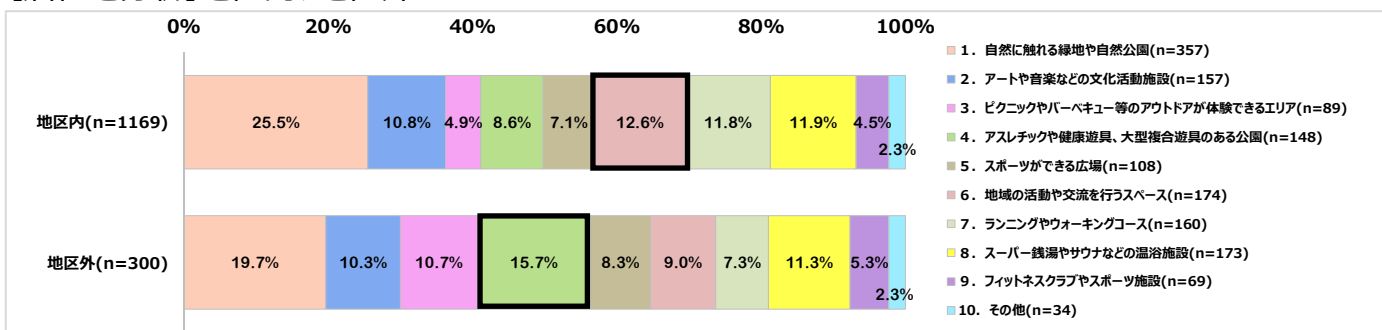
- 属性に寄らず、多様な「活動・体験」「健康・憩い」のまちにするためには、「自然に触れる緑地や自然公園」が必要との声が 1 位または 2 位に選ばれ、アンケート回答者数(582 人)のうち 61.3%が選択している。また、「スーパー銭湯やサウナなどの温浴施設」や「アートや音楽などの文化活動施設」も上位に選ばれている。

分析

【世代分析】～29歳、30～49歳、50～69歳、70歳以上

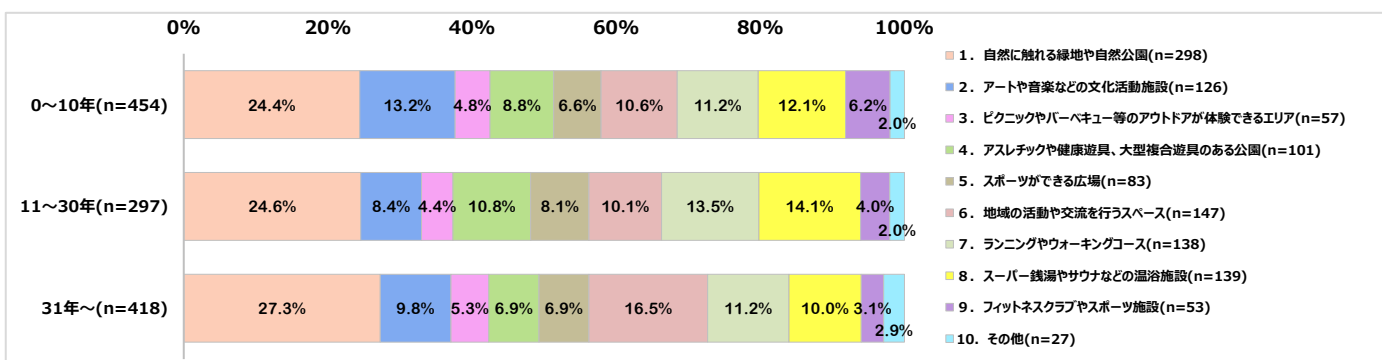


【居住地分析】地区内、地区外



【居住年数分析】0～10年、11～30年、31年以上

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く



評価

【世代分析】

- 29歳以下の人は、「自然公園」と「温浴施設」が 17.6%と同率で多く選択されている。
- 70歳以上の人は、「自然公園」や「交流を行うスペース」を求めている。

【居住地分析】

- 地区内においては「自然に触れる緑地や自然公園」に次いで、「地域の活動や交流を行うスペース」が多く選択されている。
- 地区外の方は、「自然公園」に次いで、「アスレチックや健康遊具、大型複合遊具のある公園」を選択している。

問8 その他の回答（34件）

運動が出来る場や公園、屋外スペースなどに関する意見

- 1.家庭菜園スペースの貸し出し
- 2.スケートボード練習場
- 3.卓球ができる施設
- 4.地面、草の上などに座って車座になったり、一人だけでもゆっくり楽しくできる場
- 5.ウォーキングコース
- 6.大きな公園を作ると老若男女が利用でき良いと思います。ただ、忠生スポーツ公園のように屋根がないと気温が高い日は利用できないので、ある程度の大きさの屋根等がある公園が「健康・憩い」だと思います。
- 7.農産物が手に入りにくくなってきており、町田産の農産物の生産拡大が不可欠。農地を増やしてほしい。
- 8.小学校が運動会などできるぐらいの大きさの体育館

医療機関等に関する意見

- 9.医療施設
- 10.困った時にかかりやすい大型の医療機関

交流の場などに関する意見

- 11.活動というわけではなく高齢者がただ集まれるシンプルでオフラインな場所
- 12.会員制の高額な施設ではなく、地域の人が気軽に参加できるフィットネス(ストレッチ、気功、太極拳、ヨガ、フラダンス??年配者の方々のための体操などなど様々な健康活動)を定期的を開催するような清潔で休憩(カフェなど併設して)スペースがあるような施設があると素敵だと思う。
- 13.普段の生活をチェックでき、情報を得られる施設
- 14.高齢者、障がい者だれもが一緒に使える施設

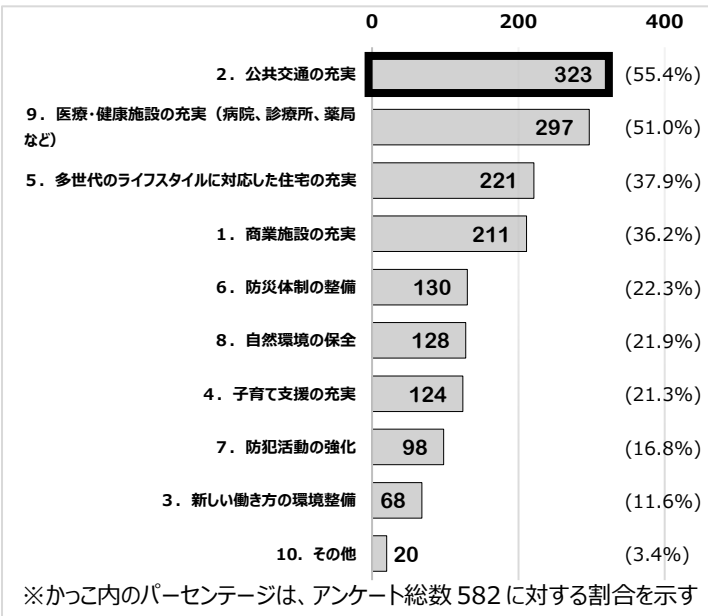
その他の意見

- 15.住人は、その場所へあしが、ないので、難しい。
- 16.若者が騒いだりたまり場になって、ゴミ問題や治安が悪くならないければ何でも良いと思う。
- 17.静寂さのある環境で、食や職、また文化で魅了
- 18.危機が起きても安全が担保できていると思う事ができるような施設がいいと思う。単なる施設では無く、用途に応じて変更が可能なもの。
- 19.ある時は災害時の住民もしくは来訪者の避難所、ある時はコンサート会場とか多機能を持った施設
- 20.UR 賃貸住宅、JKK 町田木曽住宅の集約化が必要です。
- 21.新世代の所望するもの
- 22.町田駅前再開発と関連して、FC 町田ゼルビア関連施設を誘致。今回のモノレール延伸は町田 GION スタジアムルートを視野に。
- 23.今のままで良い
- 24.死んだ母親が終戦直後の学校教育だったので、ガスコンロの中火が使えなかった。エアコンを強弱手動操作していた。高齢者の義務教育のバージョンアップ施設と機会が必要だと思う。今の子供はどういう義務なの? 高齢者は?
- 25.企業誘致
- 26.コワーキングスペース
- 27.いざという時避難用に使える
- 28.「特になし」等が7件

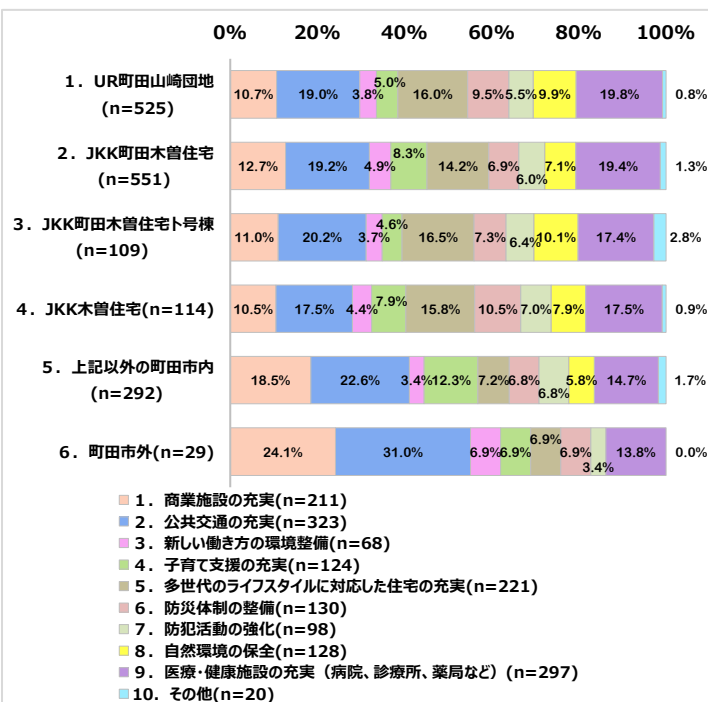
問 9. 多世代にとって「暮らしやすい」まちにするためには、どのような取組みが必要だと考えますか。
(最大3つまで○印) (N=1620)

回答 1. 商業施設の充実(N=211) 2. 公共交通の充実(N=323)
3. 新しい働き方の環境整備(N=68) 4. 子育て支援の充実(N=124)
5. 多世代のライフスタイルに対応した住宅の充実(N=221) 6. 防災体制の整備(N=130)
7. 防犯活動の強化 (N=98) 8. 自然環境の保全(N=128)
9. 医療・健康施設の充実 (病院、診療所、薬局など) (N=297) 10. その他(N=20)

【全体の集計結果】



【居住地毎の集計結果】

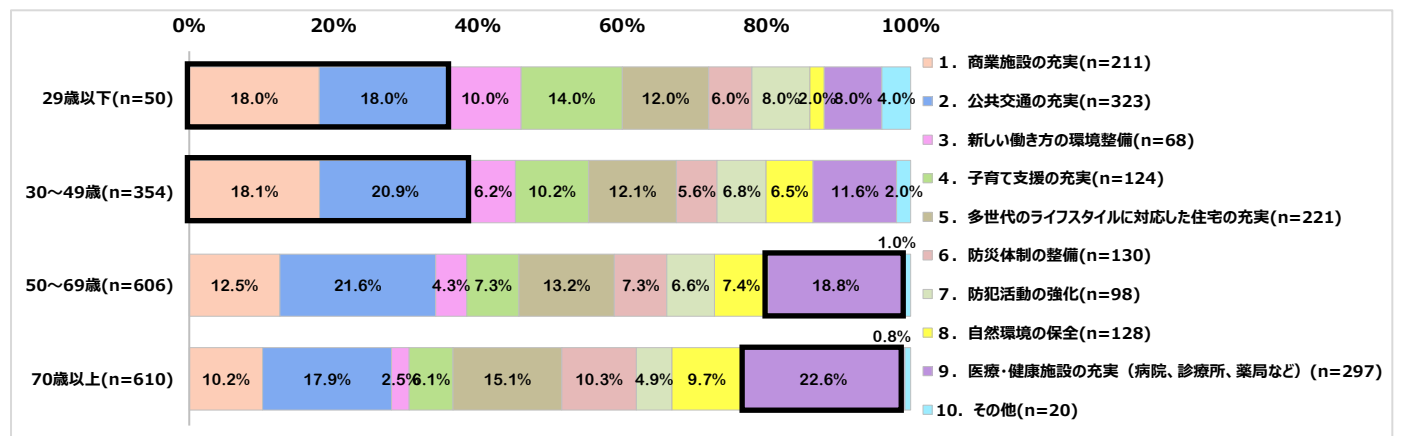


評価

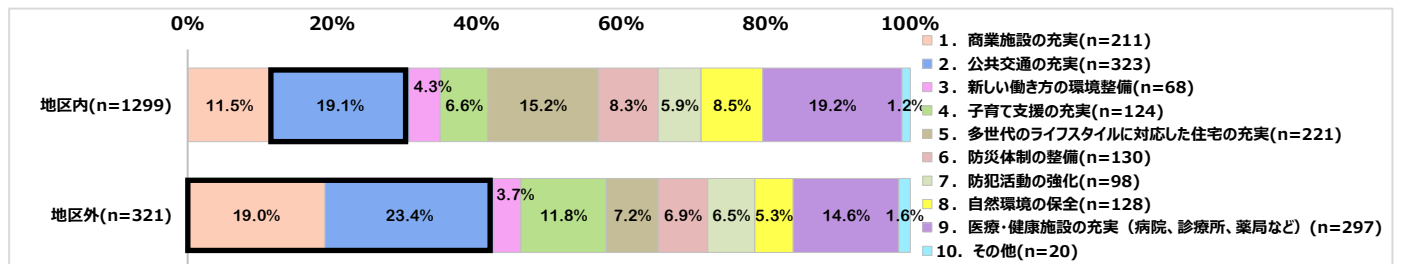
- 属性に寄らず、多世代にとって「暮らしやすい」まちにするためには、「公共交通の充実」が必要との声が 1 位または 2 位に選ばれ、アンケート回答者数(582 人)のうち 55.4%が選択している。また、「商業施設の充実」や「医療・健康施設の充実」「多世代のライフスタイルに対応した住宅の充実」が上位に選ばれている。

分析

【世代分析】～29歳、30～49歳、50～69歳、70歳以上

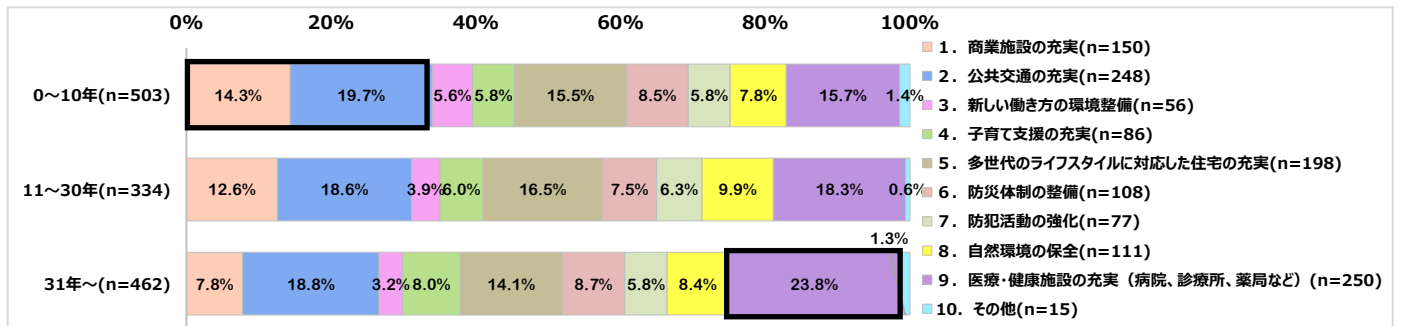


【居住地分析】地区内、地区外



【居住年数分析】0～10年、11～30年、31年以上

※「5. 上記以外の町田市内」「6. 町田市外」を回答した方を除く



評価

【世代分析】

- 49歳以下の人は「商業施設の充実」や「公共交通の充実」を多く選択している。
- 50歳以上の人は「医療・健康施設の充実」を多く選択している。

【居住地分析】

- 地区内の人は「医療・健康施設の充実」に次いで「公共交通の充実」が多い。
- 地区外においては「公共交通の充実」のほか、「商業施設の充実」が多く選択されている。

【居住年数分析】

- 居住年数が短い人ほど、「商業施設の充実」や「公共交通の充実」が多く選択されている。
- 居住年数が長いほど、「医療・健康施設の充実」が多く選択されている。

問9 その他の回答（20 件）

交通環境に関する意見

1. 周辺道路の整備
2. 交通状態に合った道路整備(渋滞を減らす、横断歩道の設定、自転車レーンなど)、治安の維持。
3. 事故が起こりづらく、バリアフリーな道路作り
4. 道路の整備し渋滞の緩和
5. 交通機関の充実は必須だと思います。なるべく早くモノレールが通ってほしいです。

新たな施設に関する意見

6. 図書館の充実
7. 卓球ができる施設
8. 高齢者のプライドを確保するような居場所の整備
9. 避難宿舎。ペット可のところを作るべき。災害時や困ったときに避難が出来る宿舎が近所にあるとうれしい。猫とかも連れてこられるとさらにうれしい。
10. 欲しい情報を得られやすい施設
11. 健康促進に役立つ設備のある公園もしくは施設
12. 銀行
13. ファミリー層に魅力的な子育て環境の充実(公園、店舗、住環境)

その他の意見

14. 企業誘致
15. 世代間のギャップが大きいので、次世代にまかせたい。
16. 東京都 JKK は具体的プランを考えている。UR は駅前・駅近の高家賃がとれる住宅に山崎団地もかえる。
17. ごみ置き場の整地、山崎団地ト号棟のような
18. 町内会・自治会の加入による、住民同士のつながり
19. 「特になし」等が 2 件

木曽山崎団地地区まちづくり

問 10. これからの木曽山崎団地地区のまちづくりについて、ご意見やアイデア等があれば教えてください。
（自由記述）（187 名の方から 204 件のご意見をいただきました。）

課題		件数
1 安心・安全面の充実		15
	(1) 道路・公園等の公共空間のバリアフリー化の推進	2
	(2) 防災対策	1
	(3) 防犯対策	4
	(4) 子育て支援策の充実	3
	(5) 健康維持策の充実	3
	(6) 歩行者の安全性の向上	2
2 多世代交流の充実		37
	(1) 多世代の交流の推進	11
	(2) 住民同士のコミュニケーションの活性化	4
	(3) コミュニケーションが自然と促されるような仕掛けのある休憩スペース等の充実	5
	(4) 多様な活動に対応できる施設の拡充	16
	(5) ボランティアや NPO 等の活動を支援する体制	1
3 利便性の向上		34
	(1) 高齢者等の買い物難民に対する支援など生活支援の充実	7
	(2) 団地内や近隣を回遊するコミュニティバスなど地域の交通対策	7
	(3) 駅や拠点間をつなぐ公共交通の充実	20
4 まちの魅力の向上		64
	(1) 多様なニーズに対応した施設の整備など居住環境の改善	38
	(2) 魅力的な店舗や利便施設の導入	26
5 環境への配慮		8
	(1) 緑豊かな環境を活かしたまちづくりの推進	7
	(2) 環境負荷の低減。自然エネルギーの積極導入	1
6 その他		46
合計		204

1 安心・安全面の充実：15 件
(1) 道路・公園等の公共空間のバリアフリー化の推進：2 件 1.団地のバリアフリー化を進めて外に出やすい環境を作るべきではないか。 2.坂の多い地域なのでその対策が必至。
(2) 防災対策：1 件 3.50 年 100 年先、今以上に過酷になる自然環境に耐えられるまちづくりを。流通、自給自足等も考慮に。
(3) 防犯対策：4 件 4.高齢者が安心して住める街づくりをして欲しい 5.買い物にきたらデータで残し、登録制にして設定した期間に買い物に来なかったら、安否確認をするなど、見守りサービスを充実させて行く 6.バイクの盗難があったので防犯を特に強化して欲しい。 7.引っ越して来た方が困らない様に、団地わきの整地してあるだけの駐輪場はがら空きです、防犯上置けない、風除けにならない以前 1200cc の大型バイクが台風で倒されていました。
(4) 子育て支援策の充実：3 件 8.七国小、山崎中、山崎高とコンパクトにまとまってて、幼稚園保育園もある。そして老人施設もある。生まれてから一生を終えられる町として、産科、小児科があれば本当に完璧なんです。 9.子育て世代は共働きで忙しく、学校→習い事までが子どもが自宅に帰らずとも連続して可能となるしくみがあれば安心できると考えます。横浜などは学校内で放課後に書道教室を開くところもあると聞きました。障がい者の放課後デイサービスのようなイメージで学校に車がお迎えがくることもよいのではないかと思います。 10.お子さんがいる家庭(食費がかさむ)には、購入金額に応じてポイントが上がるようなシステムにしたり。
(5) 健康維持策の充実：3 件 11.見てもらいやすい、大きな医療施設の誘致 12.後期高齢の為、団地 4 F での生活が厳しい。(体力的に) 特別養護老人ホーム、福祉ホーム、介護事業など施設希望致します。また大学病院など医療施設を団地内に開院を望みます。 13.山崎団地の中には給食センターと他の施設もできますのでよしとして、高齢者がこの地域では 2 人に 1 人となっていますので、ホームがあると安心できます。ぜひ宜しくお願い致します。
(6) 歩行者の安全性の向上：2 件 14.団地いちょう通りの歩道が狭くて歩きづらいです。雑草が生い茂り暗く汚らしいイメージもあります。 15.車や自転車の往来が多く、スピードを出していたり、歩道でスケボーで遊ぶ子どもがいたり騒いでいる。ルールがなく、危ないしうるさいことがあるので、通行できるエリアと歩道、ランニングウォーキングルート、住環境を分けるなど整理したりルールを考えて欲しい。今はどれも中途半端で強みが感じられない

2 多世代交流の充実：37 件
(1) 多世代の交流の推進：11 件 16.多世代の住人が充実したライフスタイルをおくれ、イベント等で交流をはかり、有事の時には一致団結し、住民同士、支え合い乗り切れる力を持った地域になると良いと思います。子育て世代には高齢者の力を、高齢者には若い人達の力を。お互いに助け合って生活できる環境を。 17.高齢者と若い世代・子ども達と交流ができる公主催のイベントを開いていける街が良いのではと思います。又そういうイベントを行えるスペースがあればと思います。私自身、読み聞かせのボランティアをしてみたいと思っていますが、学校では朝！だけのようで👉そのような活動もできるスペースを公と共に考えていって頂ければと思います。 18.老人と子どもの交流ができるイベントやお祭りを数ヶ月に一回行う。 19.町田木曽団地自治会主催の花火大会を、継続して実施して欲しい。2024 年の花火大会は中止になってしまいました。理由付けとして、「新しい道路が開通し、警備の問題」と掲示されましたが、それが理由であればもう永久的に中止になってしまいます。木曽団地の花火大会は我々も幼少の頃から楽しませて頂き、今でも楽しんでいます。若い子たちはもちろん、高齢者側も子供や孫を実家に呼び寄せるきっかけにもなります。立派な花火大会で、なんで雑誌に載らないのだと思うくらいです。是非、市からも支援願いたいです。 20.花火がなくなり、さみしくなっている。 21.エンターテイメント性の高いイベントの包括的な実施。 22.昨年末に引っ越してきて、高齢者が多いことはわかっていましたが、予想以上にたくさん住まれていて驚きました。デイサービスの車や訪問看護介護の方々もよく見かけます。若年層が住める街づくりも大切ですが、今後も高齢の方は減らないように感じます。地域活動としては高齢者支援の部分も必要で、地域見守りの活動等を通してあらゆる世代が交流できる環境や、交流できるよう人の気持ちを動かしていく取り組みができるといいのではないかと思います。ボランティアなど地域でお役に立てる場があれば積極的に参加させていただきたいと思っています。この取り組みを担当されていらっしゃる方々、とても大変だとは思いますが、頑張ってくださいと嬉しいです。 23.桜美林大学との連携強化によるにぎわいの創出。 24.桜美林大学が新たに近隣にできましたが、団地にも協力を促したい。 25.桜美林大学がきて、多少活気づいたように思う。生徒たちにも提案の場を設け、若い人たちの意見をたくさん聞いてみたい。一部の生徒だろうが、団地のポストにゴミが捨てられていることが実際にあったし、そういう話も聞く。関わる人みんなで作り上げることによって、そういう意識も変わるのではないかなと思う。 26.ファミリー層の拡充が必要不可欠と考えている。SNS 等で魅力的なファーストインプレッションを与える環境を早い段階から整備し、市外の人達が訪れる機会をまずは増やして行って欲しい。 (2) 住民同士のコミュニケーションの活性化：4 件 27.住人同士の交流が少ないので考えたいです。 28.住民だけでなく高齢化が進んでいく中、孤立や他の人への無関心を軽減できるように、人と人をつなぐ架け橋・心や体の不具合を共有し、補い合えるような関係性をつくっていける風通しのいいコミュニティが進むような取組みが進む事を強く願います。 29.マンモス団地と呼ばれた木曽団地、山崎団地も、空きが多く入居する人もここ 20 年でだいぶ減ったと思います。まずは団地の建物がある以上賑わいを取り戻すためには入居する人が増えその人達がまた盛り上げて色々参加できるような環境作りも大事だと思います。 30.コミュニティが希薄なので隣近所で交流できる場作り。また既に海外出身の人が増えてい

る印象なので、海外の方々を迎え入れる施策を取り、交流できる場を作り、新たなコミュニティを作る。 (3) コミュニケーションが自然と促されるような仕掛けのある休息スペース等の充実：5 件 31.社会とは離れてしまった高齢者の居場所や意見を聞く場所をきちんと確保してあげること で、地域のクレーマーや孤独死対策にもつながると思う。 32.高齢者が、好きな時に気軽に立ち寄れるカフェみたいな施設があるといいなと思います。 33.年代に関係なく誰でも利用しやすくてくつろげるゆったりしたスペースの空間があるとい い。小さくてもいいのでカフェとか若い人も興味を示すような雰囲気です老若男女が交流で きるようなイベントも出きるような場所があるといい。 34.とにかく健康のため歩くことが一番に思います。外に出て気軽に散歩でき人とふれる事が 明るく生活する事と思いますので心やさしい団地にしてほしいです。木の下にベンチなど。 長く住むことができるようにと願っています。 35.UR 山崎団地に住んでいました。母子家庭なので家賃が高く引っ越ししました（子育て割が 終了したので）。もう少し低家賃であれば戻りたいくらいです。スーパーもある。駅から遠 いけれどバス便も多い。図書館だってある。団地内の散歩道も好きでした。高齢者も多く高 齢者のたまり場（ごちそうさん・・・だったかな）はあるけれど、子育て世代の・・・何か・・ が足りない。喫茶店とか・・・。小学校高学年～中学生くらいのお母さんは仕事をして忙し い人が多いけど、子育ての話し（学校への行き渋り、とか）をする場所がなく、懇談会前の 数分で話しをすることが多かったです。たまにミニストップで話しをしましたが、コロナで 飲食が出来なくなったので話しをしなくなりました。 (4) 多様な活動に対応できる施設の拡充：16 件 36.広大な敷地だし平坦なエリアなので、大きな運動施設や公園が欲しいです。 37.屋内型スポーツ施設(ラウンドワンのような)酷暑でも色んな世代が楽しんで身体を動かせる 場所とスケートボード練習場も作ってあげたい。 38.住民が参加できるスポーツ施設。例えば卓球ができる施設。以前、本町田西小学校の体育館 で解放があり、卓球、バド等が出来ていたのですが、学校統廃合によってできなくなった。 スポーツができる施設をつくってほしい。少子高齢化の状況の中で、学校統廃合によって学 校開放ができなくなっている。この現状をどうできるか。スケボー禁止の看板が目につく。 年寄りに軽スポーツをする施設をつくってほしい。桜美林大学にも開放を呼び掛けてほし い。 39.バス降車・三徳スーパー・木曽山崎コミュニティセンターあたり、ステージ等にてスケート ボードの練習をするため、タイル・階段のへりが破損する。にぎわいのエリアにスケートボ ード練習場を希望したい。 40.若い世代が健康的に活躍出来る場の設置 整備されたスケボー施設や野球場、サッカーグ ラウンドがあると若者が集まる。大きな大会の開催を目指す→若者が街を大切にする 3 団 地内の小型バスの運用。高齢者の移動の困難さを解消する及び学校統合に伴うスクールバ スのような位置付けも検討するとよい(登下校時の犯罪や事故防止)。駐車場の整備。上記の 人を集客を達成するため駐車場の完備は必須 空き地を活用出来ないか？ 41.スケートボードをやりたいがる子どもが多いので、スケートボードパークなどの施設をつく るといいと思います。 42.大学生に関しては、ダンスやスケボーなどが出来る場所、レンタルスペースがあれば嬉しい のではないかと思います。大学生のその時々要望があると思うので、対応可能な柔軟性が 必要と考えます。 43.せっかくモノレールという新しい交通手段ができるので、移動の良さを売りに、かつそこ に行けばあるものを特長として呼び込むことが大切だと思います。例えば、映画館（南町田など
--

にはあるが、町田市内では他にない）、スポーツ施設としてスケートボードパーク（町田市内では特設の場所がない）、野外音楽堂など、文化・スポーツの場としての提供があってもよいと思っています。 44.ねこサポステーションができたことは、大変助かっています。運動施設が近くにあったらよいです。 45.高齢者が動きやすい集まりやすい公共施設の充実。例　スポーツ広場、図書館等 46.生涯学習施設、今まで通り趣味と一緒にできる施設もあって欲しい。生まれて死ぬまで安心して生活できるところになったらいいなあと思います。 47.釣り等趣味で遊べる所があると斬新で新しい町になると思います 48.空きスペースを活用して、農園芸できる場所が欲しい。コミュニケーションが生まれる場所として。アイデア募集コンペやって欲しい。 49.屋外での音楽は近所迷惑になるので、そういった活動を許さなくてよい、そのための施設が必要だと思います。 50.商業施設ばかりでは、企業で働く結婚前の若者は出て行き、サービス系などの労働者しか住まなくなるので、企業が入るビルなどが出来て、会社が誘致出来るような環境が理想的だと思います。 51.デジタルやリモートワーク環境設備が限定的で古く、仕事や勉強といった自宅でも周辺のスペースでも活動がしにくい。また住環境の設備や間取りが旧式すぎる割に家賃が高い。家賃を抑えて、リモートワーク環境、自習スペースを整えると活動的な高齢者も含めて魅力を感じて賑わうのではないか。コミュニティセンターは個室ではなく有料だし、図書館はいつも混雑していて利用しにくい。 (5) ボランティアやNPO等の活動を支援する体制：1件 52.有償ボランティアによる環境整備(除草　ゴミ拾い　)などに元気な高齢者を募る

3 利便性の向上：34件 (1) 高齢者等の買い物難民に対する支援など生活支援の充実：7件 53.歳をとっても子供達にあまり頼らずに病院や買い物へ行きたい。なぜなら今自分の親の介護をしています但病院へ行くのにとっても不便だという事です。 54.高齢になっても暮らしやすい街づくりを意識することが大切だと思います 55.高齢者が多いので、高齢者も、できるネットサービスが必要 56.木曽山崎団地地区の高齢化率は高く、外出せず自宅内で過ごされている方が大勢いらっしゃいます。そのような方が気軽に掛付けられたり、宅配やネット注文と一緒に注文したりなど、福祉サービス外で自費サービスやちょこっとボランティアや団地コンシェルジュなどのしくみが構築されれば高齢者の活性化に繋がると思います。 57.木曽と山崎の商店街の空き店舗に、美容院や洋服屋さん、コインランドリーなど、必ず生活に必要な店を入れてほしい。高齢者が困っています。 58.高齢者の生活環境充実（買い物・医療）。 59.現状でも高齢化が進んでおり、その方々の食生活や健康活動の助けになるような食品の販売形態(1個1枚から買えるようにするなど) (2) 団地内や近隣を回遊するコミュニティバスなど地域の交通対策：7件 60.山崎木曽循環バス 61. J K K町田木曽住宅(バス)桜美林からバス通りのなかみちにバスを回して欲しい 62.山崎団地センターから山崎団地に行く。途中桜美林を左折した真ん中位にバス停がほしいです。 63.山崎団地センターバス停が本数の多いバスが病院前の道路上で1日数本の急行が便利なロータリー内で降車する構造を見直すりニューアルをしてほしい。町田バスセンター方面行きの乗り場も古淵行きや急行と3種類のバスが出発するので総合的に構造を見直してほしい 64.交通手段の充実（年寄にやさしいこと）。 65.公共の交通機関を更に拡充拡大させていただき、逆に自家用車両の使用を制限することで、夜間の静寂な環境を取り戻していただきたい。 (3) 駅や拠点間をつなぐ公共交通の充実：20件 66.山崎団地にモノレールの駅を建設して欲しい。 67.団地と言えば駅から遠くの陸の孤島に成りかねないけど、モノレールが通ればそこが、1つの街作りになります。 68.以前からモノレールの延伸計画に注目しています。1日でも早く開通して欲しいです！！ 69.モノレールの早期延伸を期待しています。 70.モノレールが出来にぎわいが出来れば、周辺の住民の利用が考えられ交通システムが必要と思われる。 71.鉄道駅から遠いのでモノレールを立川～八王子まで延伸してほしい。 72.バス無しで最寄り駅が欲しい。 73.交通網の整備により、町田駅周辺など拠点となる地区へのアクセスの向上。 74.町田駅から町田木曽住宅あたりまで、今少し早い交通が便利になることを望みます。交通が便利になる事によって外からの人も集まるようになると思う。 75.町田駅周辺へのアクセス手段の充実を希望。 76.市中心部や都心、日本の他の地域へのアクセスを良好にしてほしい。 77.木曽山崎エリアだけでなく、周辺地域(本町田や藤の台など、町田駅周辺へのバス本数が多いエリア)へ伸びるバスターミナルがあると良いと思う。藤の台～町田線など、町田駅へ向かう比較的長距離の系統を山崎団地でモノレールに乗り換えるよう再編することで、1系統
--

あたりの走行距離が減り、より少ない運転手・車両数で運行できると考えられる。町田駅の衛星基地のようになることで、町田駅周辺の混雑緩和や、外部および周辺地域から山崎団地へ来る人数の上昇、バス運転手減少や 2024 年問題の緩和等にも寄与すると思う。周辺地域と緑の連担をするなら、人どうしても連担できれば、にぎわいももたらされて良いと思う。 78.バスの本数が、とても多くて魅力的だったが、減らされてしまい不便に感じる。高齢者も多いので、シルバーパスを使い時間を気にせず気軽に出かけられる状況にしてほしい。また、働き世代にも通勤の負担が軽減されるようにすると、通いやすさから住人も増えるのではないかと感じる。 79.将来に向けた夢を語るよりも、公共交通の充実・維持を切にお願いしたい。バスの本数がどんどん減らされており、ひどい混雑になっている。バスが使いにくくなると、子供も大人も老人も暮らしにくい町になると思うし、そんな町になってしまったら人口の維持も難しくなると思う。仮に数十年後にモノレールができたとして、そのときにまわりの路線バスが壊滅していたら、山崎団地の街づくりや住環境どころの話ではないでしょう。 80.バスの減便は深刻だと思う。このままだと若い世代は団地に住もうという人はいなくなるのではないかと。早めのモノレール延伸が望まれる。 81.この地域は交通手段に懸念があると思います。いつの日かにはモノレールができるのでしよう、でもその前に主流の交通手段であるバスはどうなるのでしょうか？その問題が解決していないのにまちづくりの話はいかなものかだと思います。 82.神奈中バスしか交通がありません。値上げがあるとバスに乗れなくなります。 83.団地やマンションの方は管理組合なので趣味やヨガや運動など色々サークル活動されていますが戸建て住民にはその機会ありません。広報見ますと市も広報などで教養講座を忠生、鶴川、成瀬市民センターなどなど他の地域では開催されていますが木曽山崎センターでは殆ど募られていません。いつも広報を見て、今月、広報で木曽山崎センターで無いか、探していますが無いです。私は運動好きなので図師の市民プールや旭町のサをールも通いましたが山崎町からはバス便が悪くとても不便、で結局今は高いジムに通っています。公共の利用したいです。特に図師のプールは温泉もあっていいです。娘が多摩方面におりまして仕事していますので子守り頼まれることよくあります、多摩センター駅から京王線やモノレール利用したいのですが山崎から多摩センター行きのバスが有りません。タクシーで多摩センター駅まで行くこともあります（2300 円位） 84.若い人や世帯にも住みやすくするために交通手段の整備 85.モノレール導入に向けては現道未整備の都市計画道路を含み、また武蔵村山方面を優先する東京都の整備計画から鑑みても 2040 年では着工すら覚束無いと思います。一方で 30 年前と比べて既に 4 割近く人口が減少している木曽山崎団地が少なくともあと 20～30 年もモノレールを待てるとは到底思えません。地区の背骨とも言うべき都市計画道路 3・3・36 号は道路構造令上では片側 2 車線運用が可能な幅員 25m を確保しながら何故か片側 1 車線の運用になっており町田街道のバイパス機能を十全に発揮できている状態ではありません。モノレール整備開始までの暫定でも片側 2 車線で運用し、一部をバス専用レーンとするなどして町田駅との交通結節を強化することで人口流出を食い止め、新規定住人口の増加を図っていく必要があるのではないかと考えます。
--

4 まちの魅力の向上：64 件 (1) 多様なニーズに対応した施設の整備など居住環境の改善：38 件 86.団地は高齢者や空き部屋が増えていて、建物も老朽化しているので、若い世代がなかなか入居してこないです。今のまま住み続けたい人もいますので、全部を建替えなくても、一部建替えしてもいいのではないのでしょうか。 87.アンレーベ横浜星川のように外観含めてまだ長く居住できるように直すのが良いと思う。 88.ぜひ建物を近代的にしていいただき、人口を増やして欲しい。 89.団地の作りを子育てしてる家庭や、一人暮らしに対応した部屋などニーズに応じた部屋にする。特に女性の意見を取り入れつつ、家具の配置に応じたコンセントの位置や、台所のスペースを有効に使えるような部屋の作りをする。 90.団地を子育てしやすいような間取りに改修、または建て替え。子供の数が増えれば活気づくのではないかと。 91.地域の団地は年数（建築）がたっているので作りが今の若い人向けではないので、子育て世代の人が増えないのではないのでしょうか。 92.子育て世代の方が生活しやすい生活スペースを広げる（室数）等 93.若い世代の家族が住みやすい環境作りが必要だと思います。子供が遊びやすい場所や施設、託児所、保育園など、家賃の安い住宅環境のメリットを活かして欲しいです。 94.高齢者、小さい子供にとっての充実した環境は、力を入れてきたと思うので、働く世代や学生にとっても住みやすい環境が欲しいと思います。JKK や UR は、エレベーターがない、JKK は、光回線が部屋まで繋がらない、台所や洗面所など、高さが低く今世代の男性だと腰を屈めないと使用出来ない、洋室や洗濯機置場、クローゼットがないなど、住環境が若い世代には合わないため、高校生位以降の男性は住みにくいと思います。 95.住宅自体の時代性あるリノベーション。 96.桜美林大学生が住めるような部屋のリノベーションとか 97.団地の有効活用 大学生の寮としてリノベーションして若い世代の居住者を増やす 98.部屋の中をリノベする。 99.リノベーション済みや DIY 対象物件をもっと増やして欲しい。 100.先ずとにかく今の時代、お風呂にもトイレにも換気扇が無いことが魅力的団地生活にはほど遠いです。なので、足元から改善をしなければ、団地地区のまちづくりもへったくれもありません！ 101.古い建物ですので冬は寒く夏は暑い、カビも出来やすいといろいろありますが場所やまわりの感じには満足です。しかし住み心地の改善は必要だと思います。どこかの古い 60 年位経過している団地で住んでいるまま改善工事をした記事を見ました。今、窓ガラスなど良いものがありますので考えていただけたらと思います。そんな事も入居の決め手になるかなと思うのです。 102.以前に低い身長に合わせた改装をしたけれど、若い世代は高い身長が増えている。多世代が住みやすい環境とは思えない。対象を 1 つに絞らずにして欲しい。ペットを飼える棟もつくってほしい。 103.ペット可の住居を儲けるべき。 104.条件付きでも良いのでペット可として欲しい。実際散歩されている方を多く見かけるので飼っている方は多いと思います。 105.こんなに空き家があるのですから、ペット飼育禁止でも飼う人がいる現状。いつそのことペット可能物件（棟ごと）や老人が増えているなら鶴川団地の様にエレベーター付や介護付きとまではいかなくてもケアマネなどが巡回するなど棟毎改修して幅広い世代に住みやすい環境に変えるべきなのでは？家賃は高いままで階段 5 階でこれから住民は減る一方
--

です。

106.この先の更なる少子高齢化に向けてまずは居住環境の改善が必要だと思います。エレベーターもなく老朽化著しい団地のままでは多世代にとっての暮らしやすさは向上しないと思います。モノレール延伸を契機に商業施設新設で「にぎわい」というのはある程度理解できますが、現在この地域が抱える問題は深刻で「団地再生」と言われても現実味がありません。40年以上住み慣れた場所ですが、将来を考えると不安ばかりです。あらゆる世代が安心して暮らせる街になるよう、もっともっと積極的な意見収集と情報公開をお願いしたいです。

107.縦型の階段にも設置可能なエレベーターの増設を関西の例に倣って少しずつ導入して高層階に住みやすくしてほしい。

108.年寄りや足の悪い方が長く住めるようにエレベーターの設置を望みます。子育て世代の乳母車にも良いと思います。

109.エレベーターつきの団地を構築してほしい。

110.エレベーターは必要。

111.現居住者の高齢化を考えれば各棟に EV の設置などの対応も検討すべきと考える。

112.エレベーターつきの団地を構築してほしい。

113.木曽団地の環境整備をよりしっかりしてほしい。現在、ごみ収集場がカラスよけであろう陳腐なネットしかなく、毎日カラスがゴミを漁り生活道路は常にゴミだらけ。山崎団地のようにしっかり鉄条網を施しゴミ対策をしっかりやってもらいたい。

114.ゴミ収集の曜日を守るなどルールを徹底する取り組み

115.ゴミ置場のカラス対策(ゴミ散乱してる)網被せではなく金網仕様のミニハウスに変更

116.ゴミが散らばっているので景観が悪いゴミ集積場をカラスに荒らされないようケージにするなど改良してほしい。

117.不快害虫（ゴキブリ）対策をお願いします。住みやすさなど語るならまずはそこから。共用部分も掃除を誰が行うのかが不明瞭で不衛生のまま放置されている。

118.宅配ボックス、個別ではなくても。駐車場にサイズの大きい車が多くなりました、サイズ制限があるのなら守らせてください。駐輪場の振り分けにもしっかり介入してください、

119.駐車スペースが余っているところは、安く設定して複数台利用も可として欲しい。

120.空きスペースをコインパーキングにもっとしてほしい！

121.シェアカーのタイムズなども増えたらありがたいです。

122.IOT 社会に対応した団地内でのスマート実証実験に取り組んで欲しい。（自動運転、ドローン配送、ロボット案内、A I 個人相談など）

123.木曽、山崎の団地内での転居は、ライフステージの変化に応じて優先的に出来たらいいと思います。 消防署横の大きな貯水池？は地下貯水槽にして上層部は何か活用出来ないでしょうか？

124.世代別のエリアにおおよその住み分けがあると落ち着いた生活が得られると思う。

(2) 魅力的な店舗や利便施設の導入：26 件

125.商業施設の充実。

126.建物がかなり老朽化しているので建替えなどして棟数を減らして子供から年寄りまで楽しめる広場、施設、商業施設とか欲しいですね。

127.地区内で完結できるような文化的商業的施設を充実させてほしい。

128.大学も近くにできたのでロフトやハンズや伊東屋のような文具の取扱店を充実していただきたいです。その近くに飲食店などもあれば、大人から子供まで集まりやすい憩いの場になるのを期待しています。頑張ってください！

129.子連れ向けの飲食店、子供向けの遊べる施設が町田駅周辺にもないのでもう少し子供も住

みやすい遊びやすい場所になってくれると嬉しいです。ららぽーととかあるとそこの中に子供の遊び場託児スペースなどあってとても便利なので近隣にできるといいなあと思っています。

130.既存の建物利用だけで無く、スーパーや運動施設、文化の楽しめる様なイオンモールやアウトレットのようなゆっくり買い物、スポーツ、映画など楽しめる建物を作って下さい町田には駅前行っても映画館も有りません。おおきな作るのは直ぐでは無いですね、近々できる事として忠生 6 小跡地に体育館が出来ると聞いていますが。そこの中や館内の周りで楽しんで歩ける場所、会などやってみてはどうでしょう？例えばイオンモール内で館内を皆さんで歩くと言う催しされていますが手近なところでその様な事試みて下さい

131.病院、スーパー、郵便局、図書館が近くにあり、全体的に明るい印象を受け団地に引っ越してきました。これからは更に充実した商業施設や総合病院（町田市には深刻な病気にかかった時に安心して治療を受けられる病院が無いように思う）があったらいいように思います。

132.既存住宅のリノベーションや建替え等の要件の緩和と資金調達の負担軽減策の策定、都市計画・用途地域の見直し等を通じて単なる住宅のミニ開発推進ではなく集客力ある施設の誘致を！

133.ゴルフ場の跡地に複合施設を作るとか？

134.現状、大変住みやすい。立地的に高度な再開発は不要と思う。スーパーや家電量販店、公共施設の誘致程度で良い。

135.商店街を活性化してほしい。

136.大型商業施設等も魅力的ですが、20 年以上住んでいる身からすると、商店街の活性化の方が嬉しいです。

137.市内の企業、大学などを巻き込んで、まずは商店会の活性化に尽力して欲しい。空き店舗を無くし、80 年代の活気のある商店会を甦らせて欲しい。また、今ある商店会の懐かしく貴重な雰囲気も大切に継承して欲しい。

138.団地内に利用したい商店が少ない。何か明るくない為もっと明るく楽しい感じがする商店街になってほしい。山崎団地の商店街が以前に比べてだんだん寂しくなっている。

139.コンビニが入れば振込等が便利になる。

140.商店街に、コンビニやファミレス等の出店があると便利かと思う。

141.団地内商店がシャッター街になっていて、若い世代が行く店がない。せめてコンビニが欲しい。

142.町田木曽住宅にパン屋さんが有れば良いですね。

143.美味しいパン屋やコーヒー店が商店街にあると良い。大型のスーパーも出来ると良い。エレベーター、エスカレーター付の物件が出来ると良い。

144.銀行跡地に、ファストフードかコーヒーショップを誘致してほしい。年金ぐらしの方だけでなく、学生さんも利用し活気がでると思う。

145.近くに飲食店が少ないので宅配やテイクアウトの出来る店がもう少しあるといいですね。

146.レトロな昭和ブームに乗って外からも遊びに来てもらえる懐かしくも洒落た設備や景観を意識して欲しい。

147.高齢者世帯が多いので、孫たちが遊びにくるような施設を充実したい

148.活気のある街づくりに期待をしております。

149.山崎団地センターの活用。もうすこし機能を拡充して欲しい。図書館の拡充。地域包括支援センターの機能をもっと強く。職員の皆さんは必死で動いてくださるが、高齢化、貧困層増加、認知症増加等に対応し切れるだけのマンパワーがないように見えて心配。

150.例:子育て環境(施設、公園)、自然とマンション・店舗が同居した空間づくりなど"

5 環境への配慮：8 件
(1) 緑豊かな環境を活かしたまちづくりの推進：7 件 151.子供達にとってもその子達が高齢になっても、もちろん豊かな自然はそのまま、広場に遊具や水飲み場がある。 152.特に木曽山崎コミュニティセンターのまわりの小山の木々を切らないで自然を残して下さい。せつにお願いします。 153.団地内で、つくし、どくだみ、よもぎ、柿の実などがとれます。しかし、（柿の実を除いて）これらは雑草とみなされ、除草されてしまいます。市販されている草花がいるもの。雑草はいらざるものとされています。雑草といえど、かわいいと思える心を育てていける環境を作って欲しいです。（例 桜の花はきれいですが、空があり、他に木や草いろいろな自然があるから美しいのでは？そして人間動物、いろいろな生物がいるからもっと美しくみえるのでは？ 154.現在の緑地を保全し、老若男女、特に高齢者や子供たちの暮らしやすいまちづくりを望みます。モノレール駅が完成するのは何年後でしょうか？モノレール予定地確保から6 0 年近く（以上？）の月日が過ぎていて生きているうちに、見る事？乗る事？が出来ないのが残念です。 155.自然を生かした生活環境。利便性重要。 156.人工的なものは必要最低限にし、人も自然の一部であると感じられるまちづくりを考えてみていただきたいです。 157.表の地図の赤く印したところは街路樹が切られ新しい街路樹のサークルは数が少なく大きく環境を損なっていると思いますがそんなやり方でこの地域を良いまちづくりに向けていけるのでしょうか。 (2) 環境負荷の低減。自然エネルギーの積極導入：1 件 158.住民に見える形での再生可能エネルギーの活用。団地の中をゆっくり移動できるグリーンスローモビリティの導入。

6 その他：46 件
159.老人が多いため、今後3 0 年をみた時に、子育て世代をいかに取り込むか、が大切だと感じます。そうしないと空き家だらけになります。 160.トップダウンじゃなくボトムアップ木曽山崎地区が中心でどうするかを検討すべきでモノレールは通るときにどう位置付けられるか程度にすべき、モノレールありきでは絶対にやってはいけない！！ 161.一時的ではない、包括的な施策の実施。 162.これから先、次世代に繋いでいくための物なので憚る事なく着手して行って欲しいです。善は急げレッツゴー 163.「まちづくり」に焦点を当てるなら、""暮らしやすさ""を重視するべきと考えます。高齢者なら近隣での交流・買い物のしやすさ、若年層なら充実した住環境・子育て環境。ここに注目したまちづくりを行えば、団地だけでなく町田市全体をしても良い経済循環が自ずと生まれてくるはずです。明確な案が出せず申し訳ないですが、どんな案でも「どういう人がターゲット」なのか明確に棲み分けはしながらも、別々の案が上手いこと多様なまちづくりを形成していく。そんな第一の取り組みとして「木曽山崎団地地区のまちづくり」が成功することを願っています。 164.まずは目指す地域をイメージ化してそのイメージにあった地域に相応しい地区名をつける。暮らしやすい地域とはどのようなものか、考えて、きっと様々な立場にある人達が不便さをあまり感じさせないような設備のあるものではないかと思う。平凡な施設だけど、その中には様々な人を助ける設備が施設されている多機能型のもの。 165.この地域を総称する愛称・名称を募集、一体感を出すために山崎自治会、町田木曽自治会、木曽団地自治会、ト号、山崎一街区など、町内会自治会の連合的組織が必要。旧ゴルフ練習場の跡地利用についての検討 166.お金の選択と集中。民間の街づくりのプロ中のプロが必要。流行を追って下手にお金をかけても他との差別化は出来ない。今掌の中にある昭和レトロな財産を最大限生かすべき。 167.明日も来たいという（気持） 思いです 168.「にぎわい」のエリアの2、3街区（他）の今後のことを知らせて欲しい。ここが広場にならない限りまちづくりの検討はできない。 169.申し訳ないですが団地のイメージが良くないので、再開発しかないと思います。立川に負けず（負けていますが…涙）、町田も頑張ってほしいです。 170.スクラップアンドビルド！！思い切った行動を期待します！！ 171.若い世代が考える町の形を作ってもらいたい。老人は、その形に合わせて暮らすのが良いと思います。 172.活気ある街にしてほしい。 173.若い人が住みたい、集まる様なタウンにしてほしい。子供が飛び跳ねるような元気な町にしてくれたら、老人も若くなるかなあ？若い家族に引っ越してきてもらいたい。 174.過疎化が進んでいるので、団地の賃料を下げたりこの地域で生活に必要なものが揃うようなまちづくりを望みます。 175.団地の老朽化や空部屋の増加は街全体の衰退に繋がります。若年層が増える団地にする方策が必要 176.高齢者が多く、子育て世代の勧誘に力を入れている印象で、働く世代、若者層は置いていかれているように感じる。働く世代や若者にとって魅力的でないと寂れて行くと思う。 177.子供が減り、高齢者ばかりの地域なので若い世代が住みたいと思える環境を望みます。高齢者が子育て世代を住みづらくさせている面も多少はあると思います(騒音等)。多世代が健やかに活氣的に過ごせる街になってほしいと思います。

178.再開発で人口の取り合いをするよりも縮小再生を考える方が良い。

179.FC 町田ゼルビアのホームスタジアムである町田 **GION** スタジアムはアクセスが困難です。そこで、モノレールの延伸により木曽山崎団地地区にゼルビアの新スタジアムが出来ることで、観客の増加や他県から来た相手チームのサポーターにも町田の魅力を広げることができると考えました。

180.町田駅前再開発で森野住宅は撤去、「町田アリーナ」の誘致。市民会館撤去。町田駅と山崎駅、町田 **GION** スタジアムがモノレールでつながります。お金が動きます。若い人の町に変わる。変わる町田山崎をライブで見られる、楽しみですですね！（以前居た赤羽再開発を見ている） 20年位かかります。私はもう生きていません。

181.町作りに大切なのは、作るだけではなく、皆が関心を寄せるきっかけ(告知に始まり、デモンストレーションや、参加型のイベント開催など)ただお金を落とすだけではない、「時間」を有意義に過ごせる町にして行くことだと思うのです。して行く。進行形で発展して行って欲しいと思います。落ち着いたベッドタウン的な住居地区にすると良いと思います。

182.最近、引っ越したばかりでモノレール延伸計画があることをアンケートを通じて知りました。木曽山崎駅の構想があることもわかり、決まり次第、どのへんに完成予定かを聞かせていただけるとありがたいです。**HP** 上では **2035** 年頃完成予定と記載があり、これから街作りをどのようにしようか考えていると思いますが、新しい道路(47 号)や駅の延伸の **PR** が重要と考えています。

183.木曽山崎団地にしかない魅力を作ってください！分野種類を問わず、その分野では日本中のどの地域も勝てないような、差別化された魅力を作ってもらえればと思います！

184.分譲・賃貸ともに団地周辺の清掃がいつも行き届いていると感じます。環境整備は防犯にも繋がりますので、お掃除をしてくださる皆様のおかげで地域が守られていると思います。木曽山崎団地周辺は、公共施設が充実しており、商店街もあり、バス便も良く、自然も豊かな場所にあるので、この良さがもっと知れ渡るといいなあと思います。（新宿まで約1時間で自然のある住宅街...とか。）

185.今までの暮らしに満足しているから、環境をあまり変えないでほしい。

186.再開発するから出ていけは困ります。終の住処がほしいです 団地は **100** 年住宅

187.「賑やかな街」に出掛けたいと思うことはあっても、住みたいと思ったことはありません

188.町づくり、にぎわいエリアと言いますが一番に住んでいる住人の事を考えて頂きたい。入居する時、終の棲家と思い入居しました。入居の時、この先立ち退きがあるなど一言も聞いていません。本当に寝耳に水状態で考えると不安で眠れません。住民を安心させて下さい。先に山崎団地の空いている土地にビルを建て移住先を確保してください。不安を取り除くそれが町田市と **UR** が一番にする事だと思います。住民を犠牲にしないで下さい。80歳代で引っ越しなんて考えるだけで不安でしかありません。

189.近所の公園で子供たちが遊んでいる姿をあまり見かけないように感じます 子供はもっと自由に元気にはしゃいで叫んで良いと思っています。この暑さなので注意は必要ですが、入居した頃に比べて子供たちの声が減ったように感じて少し寂しいです。最近は公園で遊ぶことが身近ではなくなったのでしょうか？

190.空き家を減らして低家賃化をめざす

191.空き部屋を早く無くす事。

192.空き部屋の活用

193.クリニックや図書館・郵便局など団地内で日常生活が送れています。**UR** の家賃を下げ、特に4,5階を安価にし、空き部屋を無くして、地域を活性化してほしい。

194.便利なようで便利じゃない

195.80歳以上の住んでいる方に部屋代を安くする。1日2食にしている人もいます。

196.低年金生活者が暮らし易くして欲しい

197.「2040 年」とは？モノレールはいつ実現するのですか？木曽山崎団地地区全体のまちづくり

198.モノレールが本当に来るのか？来るならもっと **PR** するべきかと思う。

199.モノレール延伸を目的とした計画でもエリア内に駅ができなければ水の泡である。駅ができる事はおそらく無理でしょう。

200.山崎団地から町田にモノレールが通るのは反対です。小山田桜台、日大三高、サッカーの所通って鶴川駅に繋がる方法を考えてください。

201.多額な税金投入によるモノレール延伸は必要ないと思います。

202.商業施設や文化施設を誘致し始めても賑わいは何年続くか疑問、最初の構想を持続させるのは困難だと思う。大型施設が撤退した後はこのエリアの衰退になる。町田市中心まで近く賑わいある環境は本当に必要なのか？

203.住民参加時の手続き簡易化。

204.ペット禁止のはずが有耶無耶で糞害、吠えるなど迷惑。徹底する事！